

第13回 白井市住民意識調査

【単純集計結果】

平成26年度

白井市

- 目 次 -

| | |
|-------------------------------|----------|
| アンケート調査の実施概要 | 1 |
| 1 調査の目的 | 1 |
| 2 調査項目 | 1 |
| 3 調査設計と回収状況 | 1 |
| | |
| アンケート調査結果 | 2 |
| 1 回答者属性 | 2 |
| 2 白井市で暮らすことについて | 8 |
| 3 市政について | 13 |
| 4 市の取り組みについて | 16 |
| 5 子育て支援について | 38 |
| 6 高齢期の生活について | 39 |
| 7 防災について | 44 |
| 8 市民参加・協働によるまちづくりについて | 46 |
| 9 市の土地利用について | 49 |
| 10 市のまちづくりや地区のまちづくりについて | 51 |
| 11 自治会の加入について | 58 |
| 12 市の職員や行財政改革について | 60 |

アンケート調査の実施概要

1 調査の目的

第5次総合計画の策定にあたり、まちづくりに対する市民の意向などを把握し、計画づくりに反映させることを目的として住民意識調査を実施した。

2 調査項目

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| (1) 回答者属性 | (7) 防災について |
| (2) 白井市で暮らすことについて | (8) 市民参加・市民協働について |
| (3) 市政について | (9) 市の土地利用について |
| (4) 市の取り組みについて | (10) 市のまちづくりや地区のまちづくりについて |
| (5) 子育て支援について | (11) 自治会の加入について |
| (6) 高齢期の生活について | (12) 市の職員や行財政改革について |

3 調査設計と回収状況

- (1) 調査地域：白井市全域
- (2) 調査対象：白井市在住の18歳以上の男女2,500人
- (3) 抽出方法：平成26年4月1日現在の住民基本台帳・外国人登録原票より無作為抽出
- (4) 調査時期：平成26年5月16日（金）～5月30日（金）
- (5) 実施主体：白井市
- (6) 回収状況：有効回収数（回収率） 1,113件（44.5%）

< 調査結果の見方 >

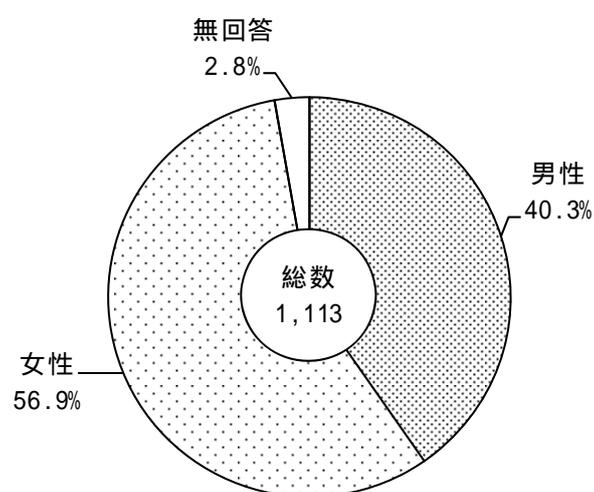
- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを示している。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

アンケート調査結果

1 回答者属性

(1) 性別

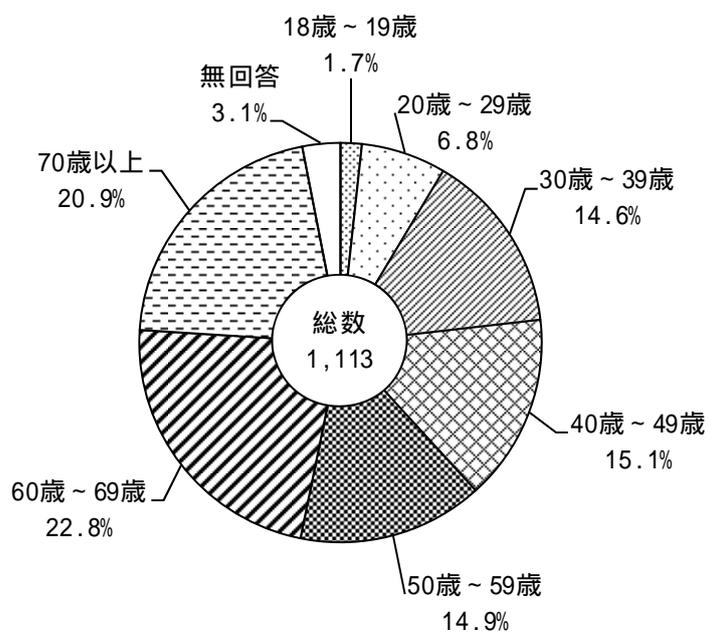
【問27】あなたの性別はどちらですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



「女性」が56.9%、「男性」が40.3%となっている。

(2) 年齢

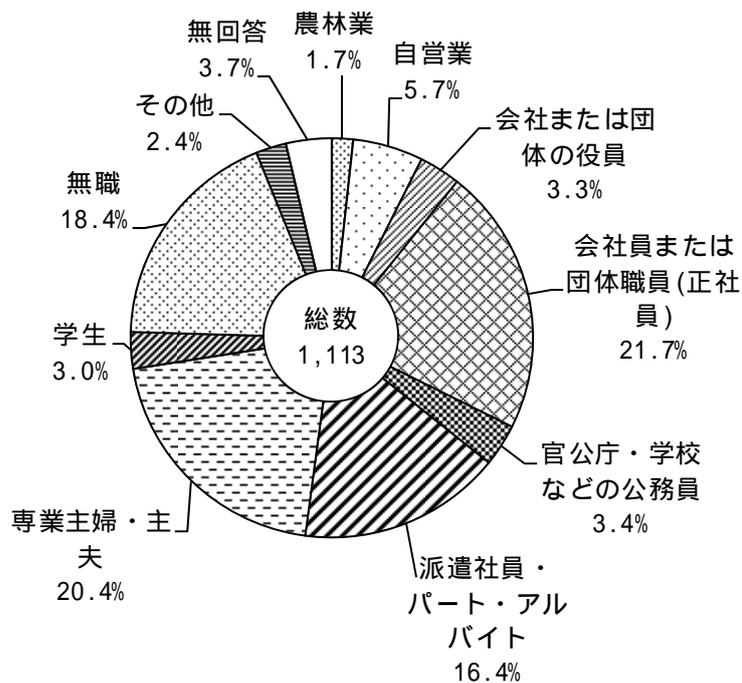
【問28】あなたの年齢は何歳ですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



年齢は、「60歳～69歳」が最も高く22.8%となっている。続いて「70歳以上」(20.9%)、「40歳～49歳」(15.1%)、「50歳～59歳」(14.9%)、「30歳～39歳」(14.6%)、「20歳～29歳」(6.8%)、「18歳～19歳」(1.7%)の順となっている。

(3) 職業

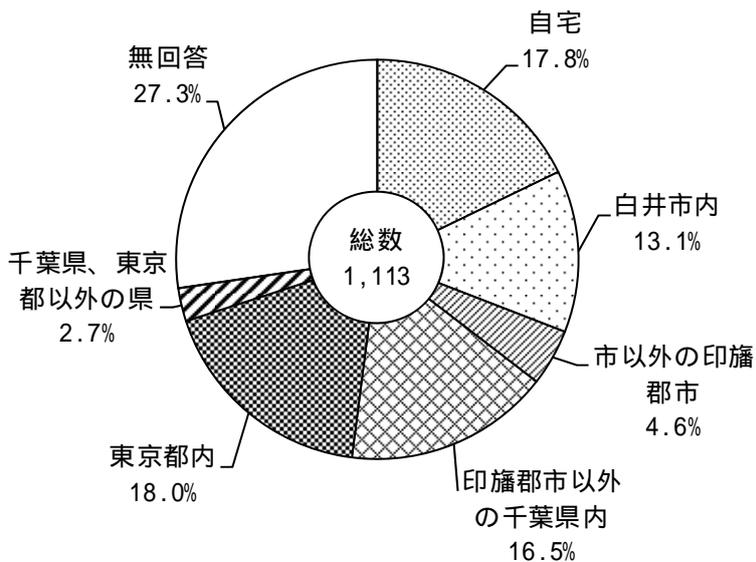
【問29】あなたの職業は何ですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



職業は、「会社員または団体職員(正社員)」が最も高く21.7%となっている。続いて「専業主婦・主夫」(20.4%)、「無職」(18.4%)、「派遣社員・パート・アルバイト」(16.4%)、「自営業」(5.7%)、「官公庁・学校などの公務員」(3.4%)、「会社または団体の役員」(3.3%)、「学生」(3.0%)、「その他」(2.4%)、「農林業」(1.7%)の順となっている。

(4) 勤務先・通勤先

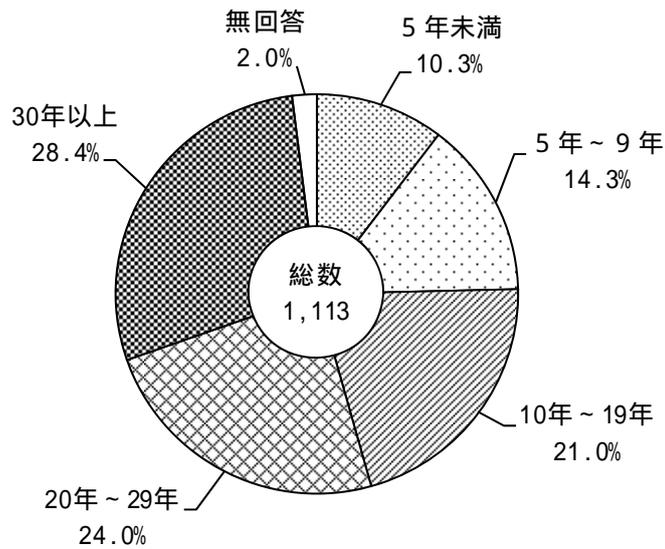
【問30】あなたの勤務先・通学先はどちらですか。次の中から1つ選んで番号にをつけてください。



通勤・通学先は、「東京都内」が最も高く18.0%となっている。続いて「自宅」(17.8%)、「印旛郡市以外の千葉県内」(16.5%)、白井市内(13.1%)、「市以外の印旛郡市」(4.6%)、「千葉県、東京都以外の県」(2.7%)の順となっている。

(5) 居住年数

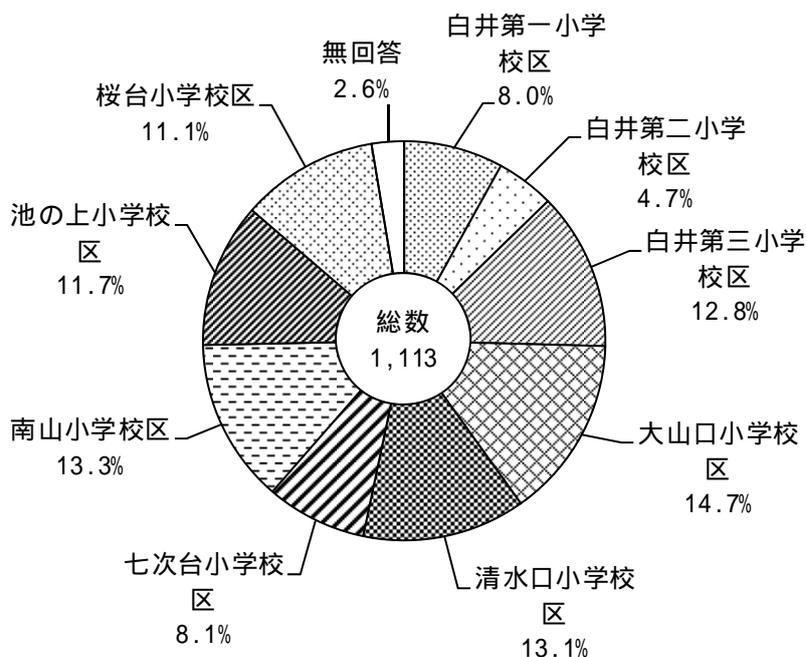
【問3 1】あなたは市に何年くらいお住まいですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



居住年数は、「30年以上」が最も高く28.4%となっている。続いて「20年~29年」(24.0%)、「10年~19年」(21.0%)、「5年~9年」(14.3%)、「5年未満」(10.3%)の順となっている。

(6) 居住地区

【問32】あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。次の選択肢から1つ選んで番号をつけてください。(わからない場合は、自宅から一番近い小学校にをつけてください)

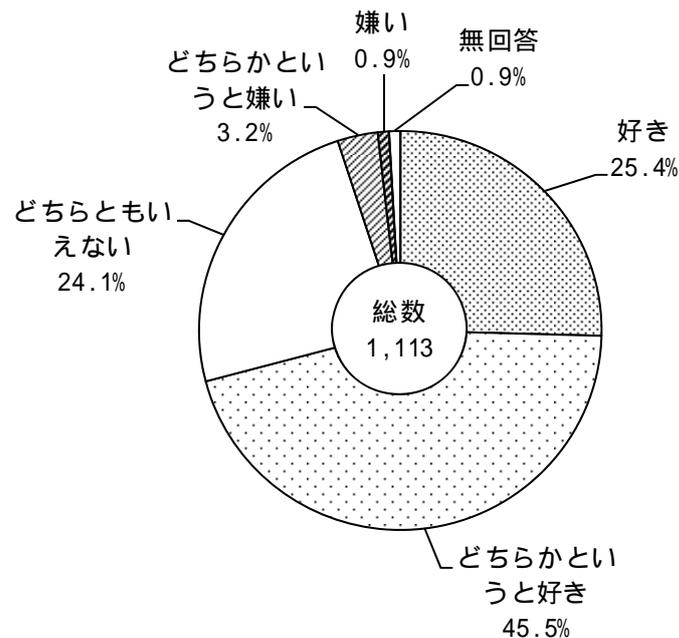


居住地区別は、「大山口小学校区」が 14.7%と最も高くなっている。続いて「南山小学校区」(13.3%)、「清水口小学校区」(13.1%)、「白井第三小学校区」(12.8%)、「池の上小学校区」(11.7%)、「桜台小学校区」(11.1%)、「七次台小学校区」(8.1%)、「白井第一小学校区」(8.0%)、「白井第二小学校区」(4.7%)の順となっている。

2 白井市で暮らすことについて

(1) 白井市について

【問1】あなたは、白井市についてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。

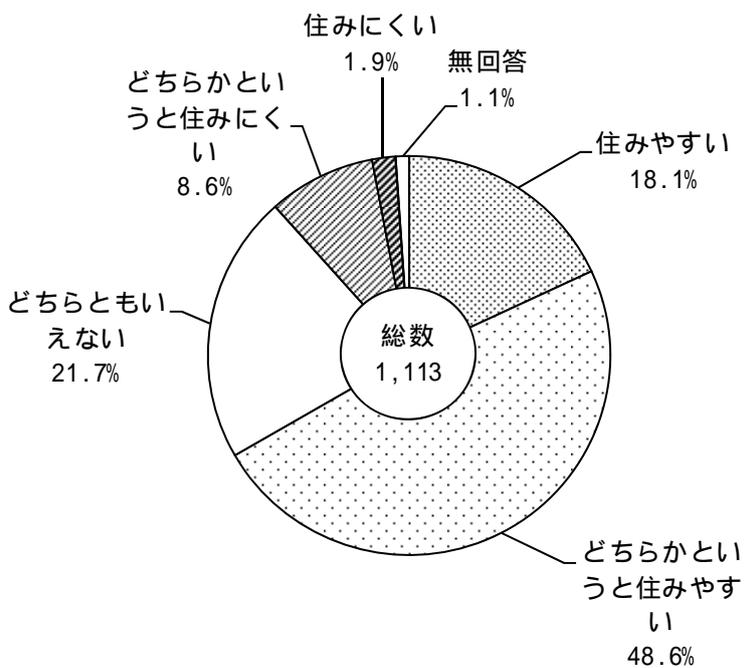


白井市に好感を持っている回答者(「好き」(25.4%)と「どちらかという好き」(45.5%)の合計)は7割を超えている。

一方、白井市に好感を持っていない回答者(「嫌い」(0.9%)と「どちらかという嫌い」(3.2%)の合計)は1割未満である。

(2) 住みやすさについて

【問2】あなたは、白井市の住みやすさについてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号をつけてください。

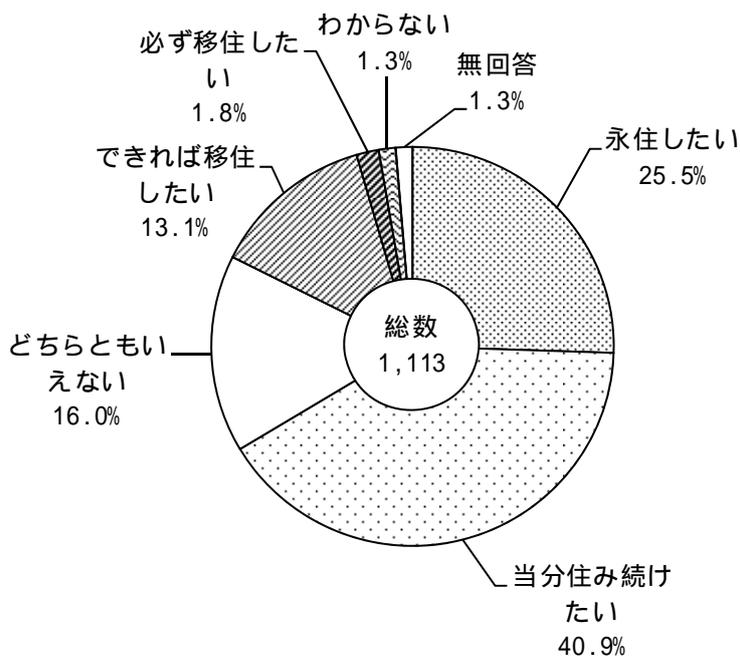


白井市に住みやすさを感じている回答者（「住みやすい」(18.1%)と「どちらかという住みやすい」(48.6%)の合計)は6割強である。

一方、白井市に住みにくいと感じている回答者（「住みにくい」(1.9%)と「どちらかという住みにくい」(8.6%)の合計)は1割を超えている。

(3) 定住意識

【問3】あなたは、これからずっと白井市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に移住したいと思いますか。次の中から1つ選んで番号にをつけてください。

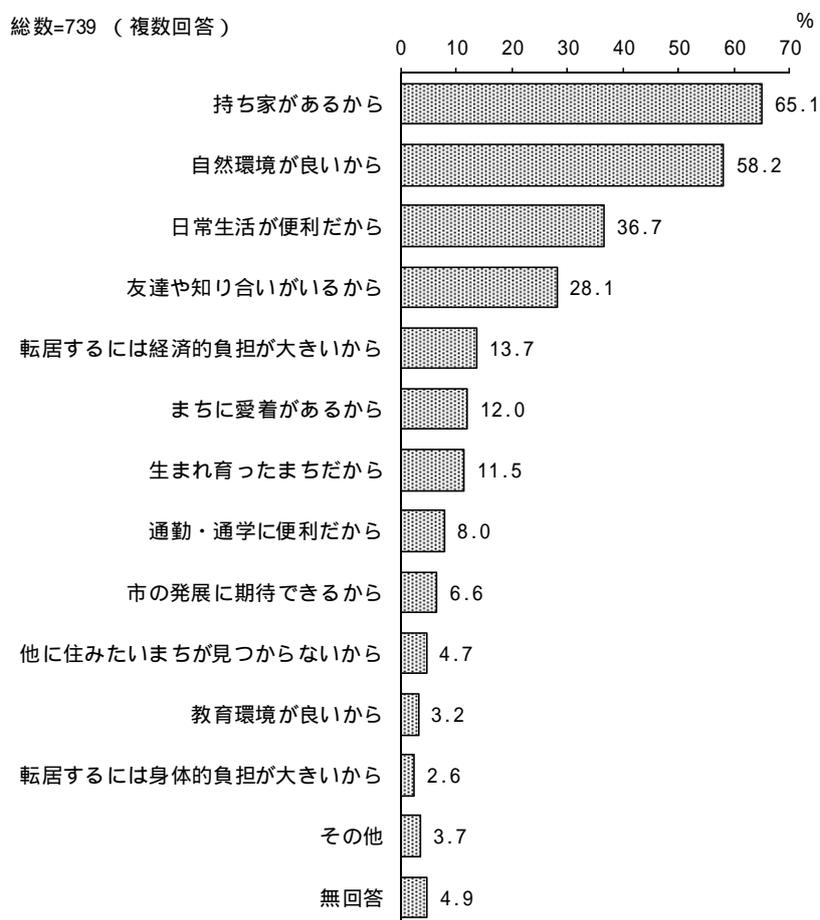


白井市へ住み続けたいと考えている回答者（「永住したい」（25.5%）と「当分住み続けたい」（40.9%）の合計）は7割弱である。

一方、移住したいと考えている回答者（「必ず移住したい」（1.8%）と「できれば移住したい」（13.1%）の合計）は1割強である。

住み続けたい理由

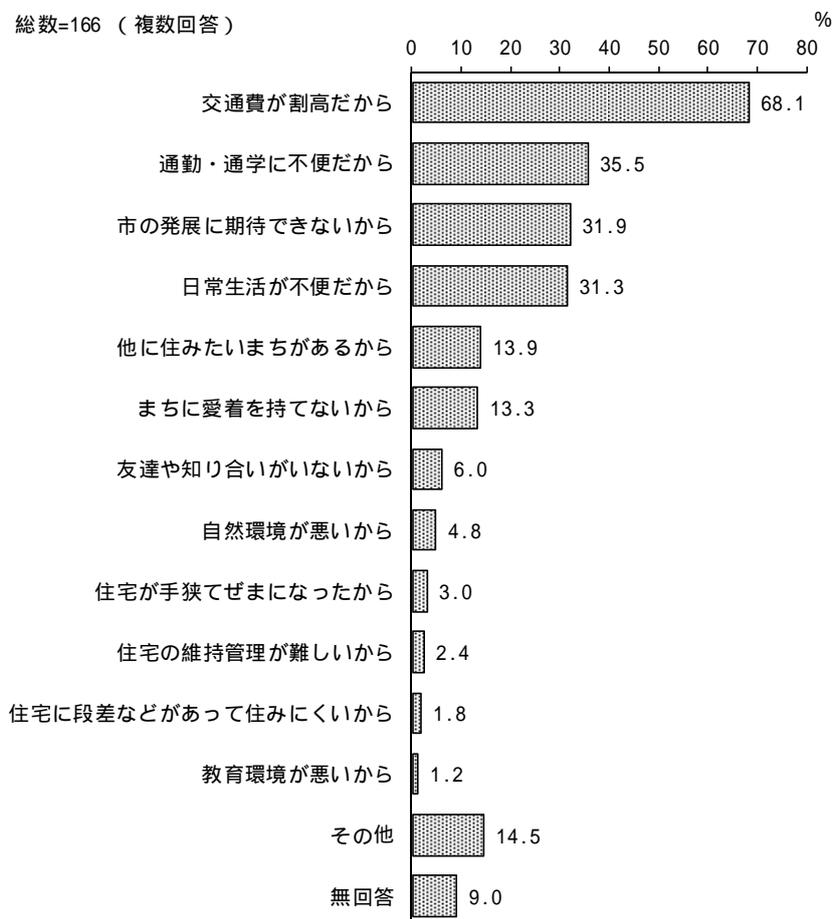
【問3 - 1】あなたが、白井市に住み続けたいと思う理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号にをつけてください。



住み続けたい理由としては、「持ち家があるから」(65.1%)が7割弱と最も多くなっている。続いて「自然環境が良いから」(58.2%)、「日常生活が便利だから」(36.7%)、「友達や知り合いがいるから」(28.1%)の順となっている。

移住したい理由

【問3 - 2】あなたが、白井市から市外に移住したい理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。

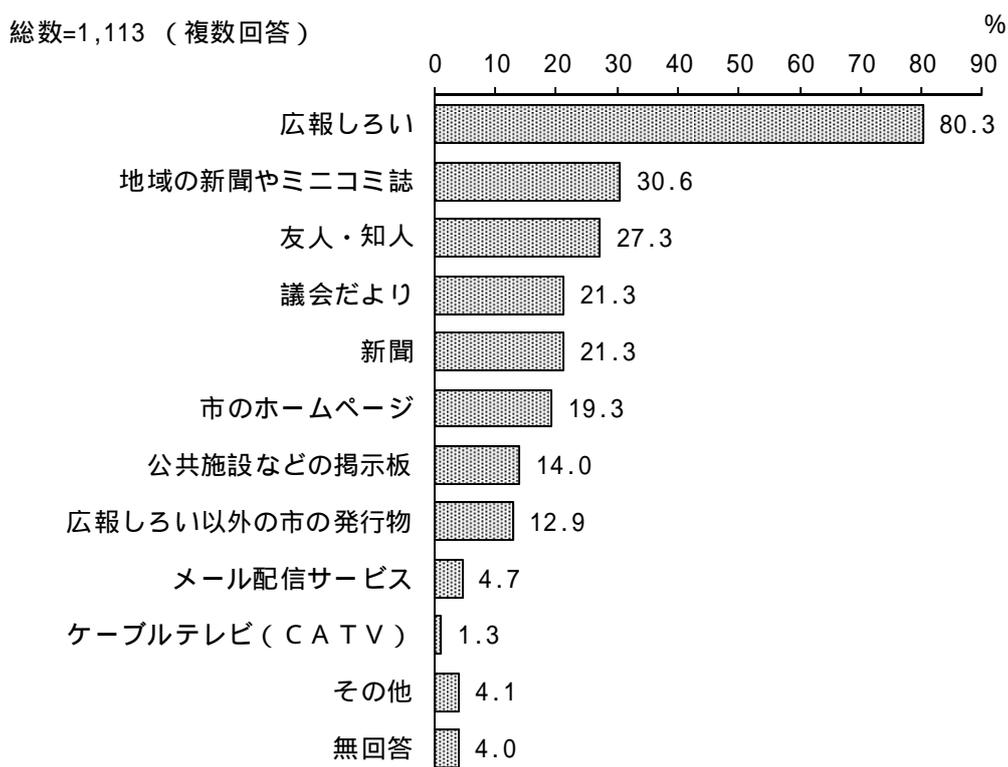


移住したい理由としては、「交通費が割高だから」(68.1%)が7割弱と最も多くなっている。続いて「通勤・通学に不便だから」(35.5%)、「市の発展に期待できないから」(31.97%)、「日常生活が不便だから」(31.3%)の順となっている。

3 市政について

(1) 市政情報の入手方法

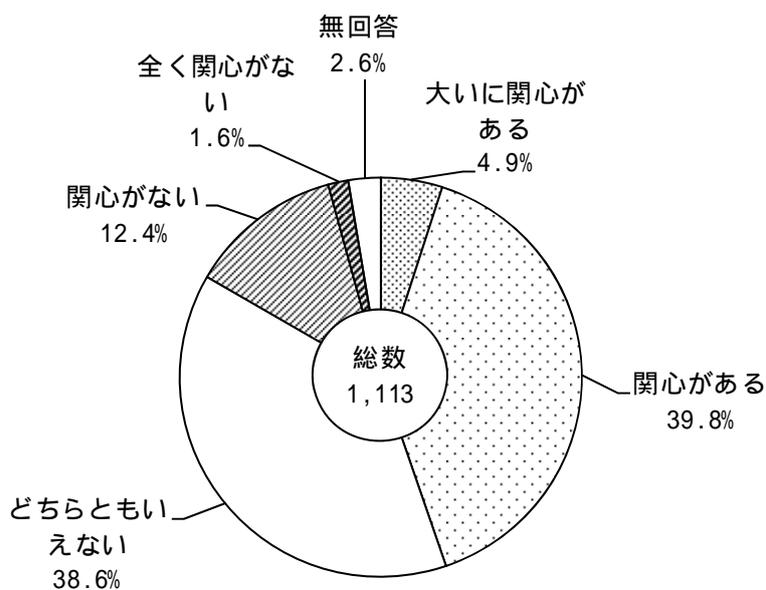
【問4】あなたは、市の情報をどこから入手していますか。次の中から該当するものすべてを選んで番号に をつけてください。



市政情報の入手方法は、「広報しろい」(80.3%)が8割を超えて最も多くなっている。続いて「地域の新聞やミニコミ誌」(30.6%)、「友人・知人」(27.3%)の順となっている。

(2) 市政への関心

【問5】あなたは、市政にどの程度関心を持っていますか。次の中から1つ選んで番号をつけてください。

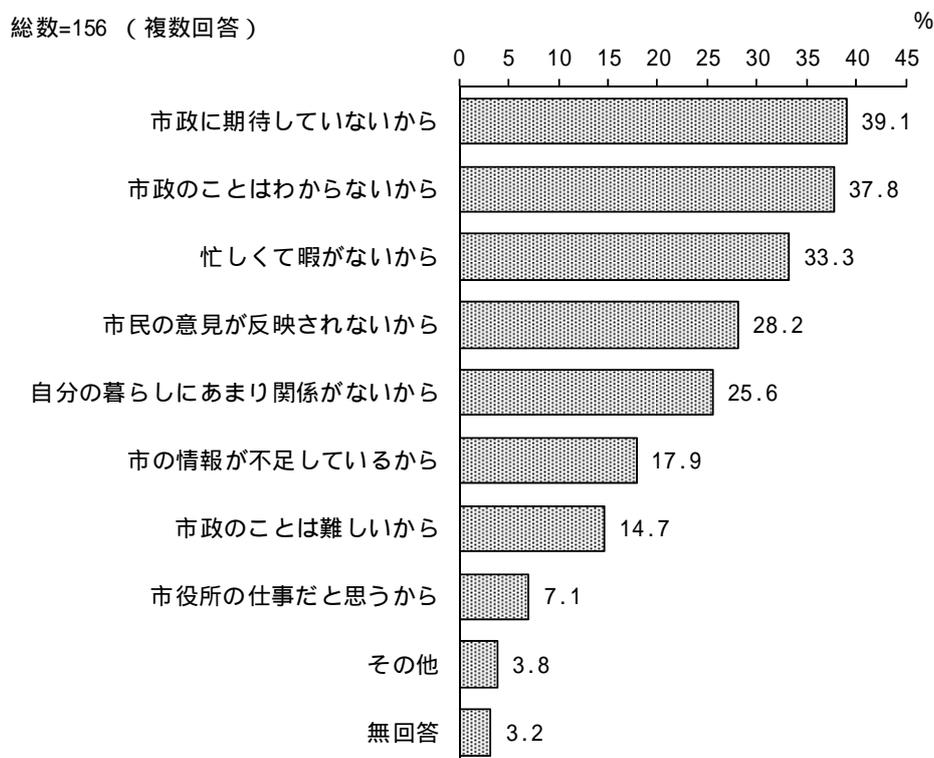


市政に関心を持っている回答者（「大いに関心がある」(4.9%)と「関心がある」(39.8%)の合計)は4割強である。

一方、市政に関心を持っていない回答者（「関心がない」(12.4%)と「全く関心がない」(1.6%)の合計)は1割強である。

市政に関心がない理由

【問5 - 1】あなたが、市政に関心がない理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号をつけてください。



市政に関心がない理由としては、「市政に期待していないから」(39.1%)と「市政のことはわからないから」(37.8%)が4割弱と最も多くなっている。続いて「忙しくて暇がないから」(33.3%)、「市民の意見が反映されないから」(28.2%)、「自分の暮らしにあまり関係がないから」(25.6%)の順となっている。

4 市の取り組みについて

【問6】次に示した市の取り組みについて、あなたの現在の満足度はいかがですか。また、あなたにとってのこれからの重要度はどのようにお考えですか。60の取り組みのすべてについて、満足度と重要度をそれぞれ1つずつ選んで番号にをつけてください。

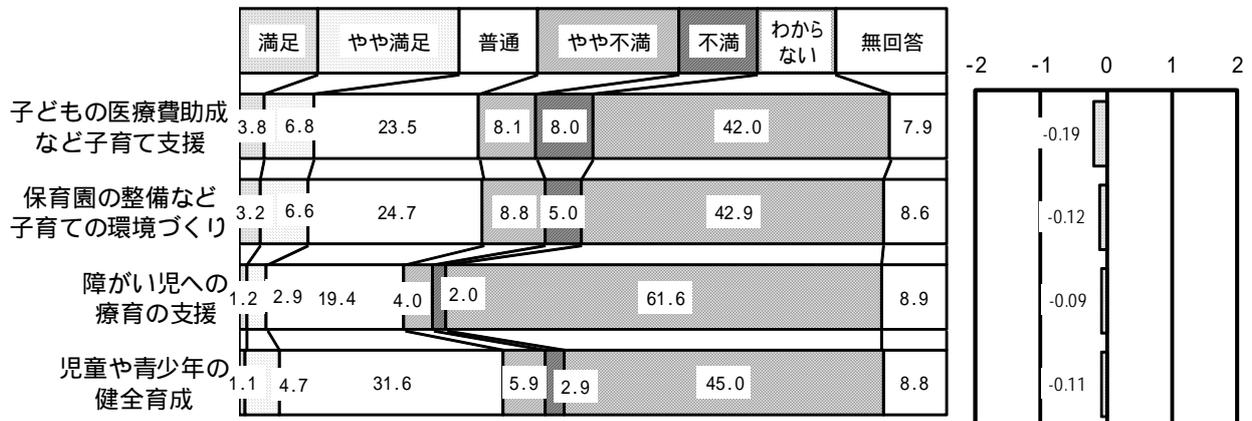
(1) 施策の満足度

子育て

総数=1113

単位:%

<評価点>



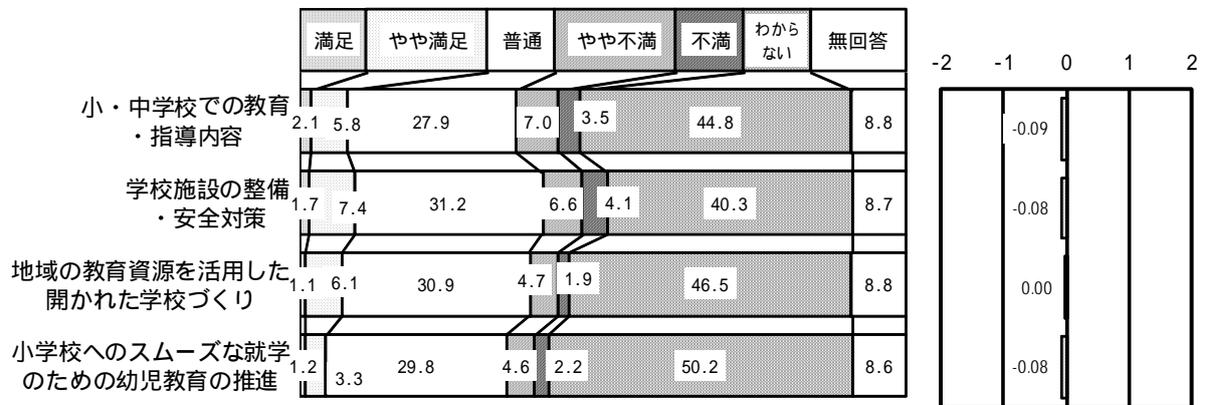
全体的に「満足派（「満足」と「やや満足」の合計）」の割合が低く、「不満派（「不満」と「やや不満」の合計）」の割合が高くなっている。なかでも「子どもの医療費助成などの子育て支援」、「保育園の整備など子育て環境づくり」について「不満派」の割合が高くなっている。

教育

総数=1113

単位：%

< 評価点 >



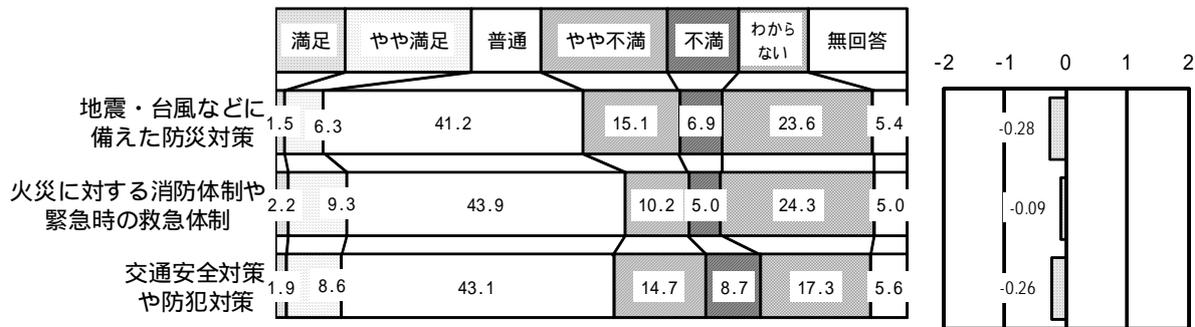
全体的に「満足派」の割合が低く、「不満派」の割合が高くなっている。なかでも「学校施設の整備・安全対策」、「小・中学校での教育・指導内容」について「不満派」の割合が高くなっている。

防災・防犯

総数=1113

単位：%

<評価点>



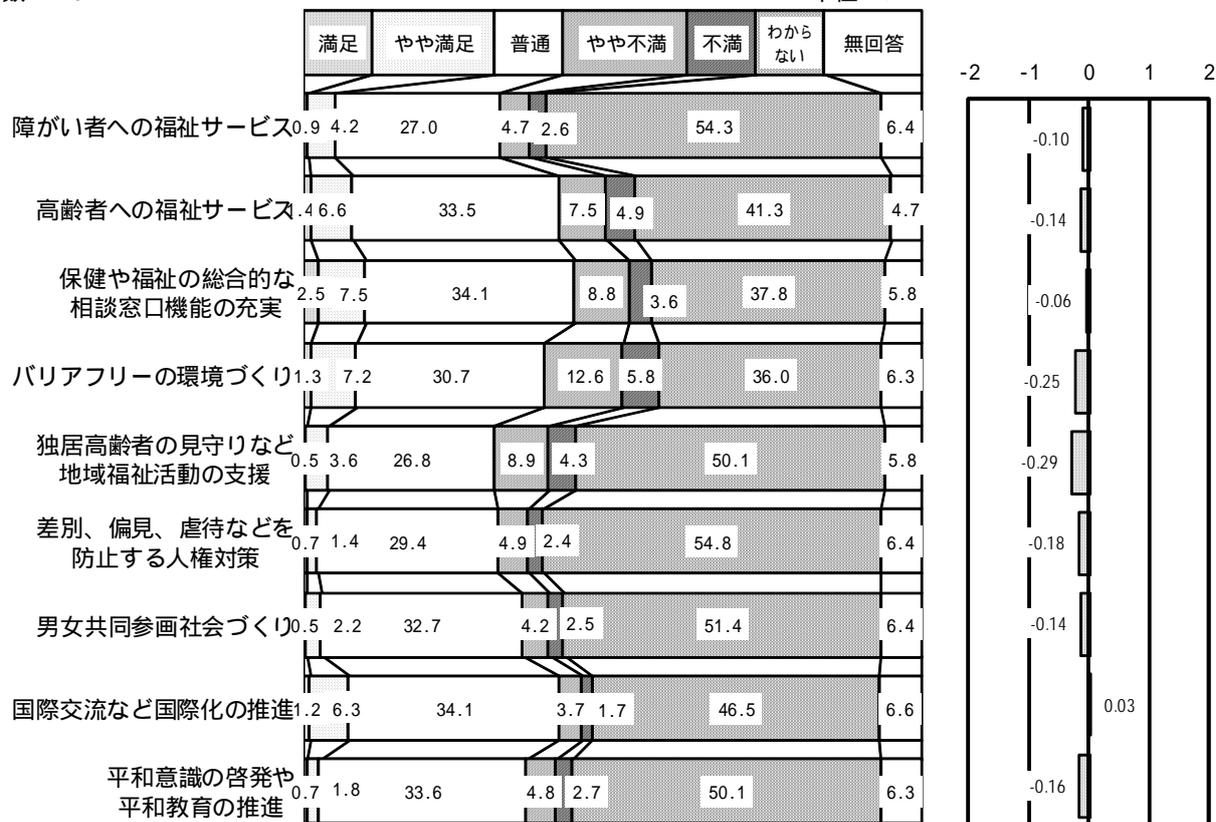
「火災に対する消防体制や緊急時の救急体制」は、相対的に「満足派」の割合が高く、「交通安全対策や防犯対策」、「地震・台風などに備えた防災対策」については「不満派」の割合が高くなっている。

福祉

総数=1113

単位:%

<評価点>



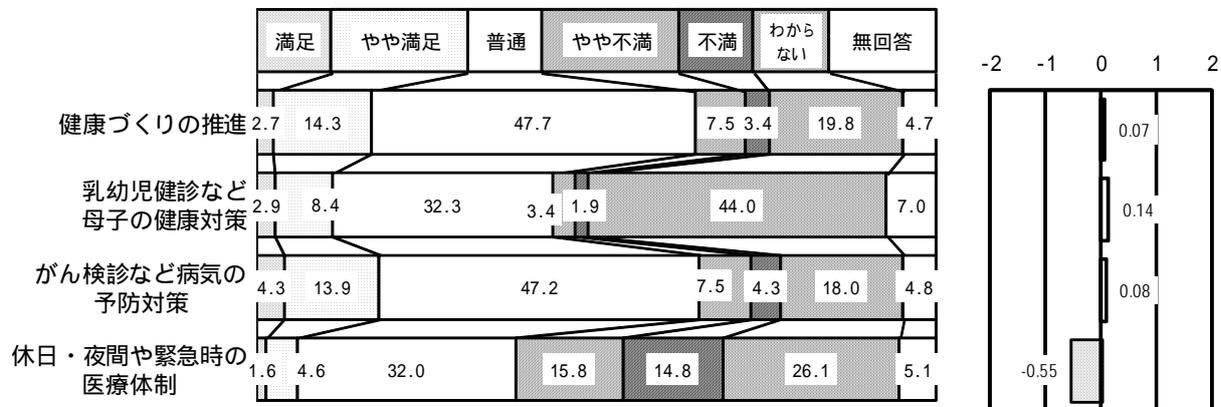
全体的に「満足派」の割合が低く、「不満派」の割合が高くなっている。なかでも「バリアフリーの環境づくり」、「高齢者への福祉サービス」、「保健や福祉の総合的な相談窓口機能の充実」について「不満派」の割合が高くなっている。

健康・保健・医療

総数=1113

単位:%

<評価点>



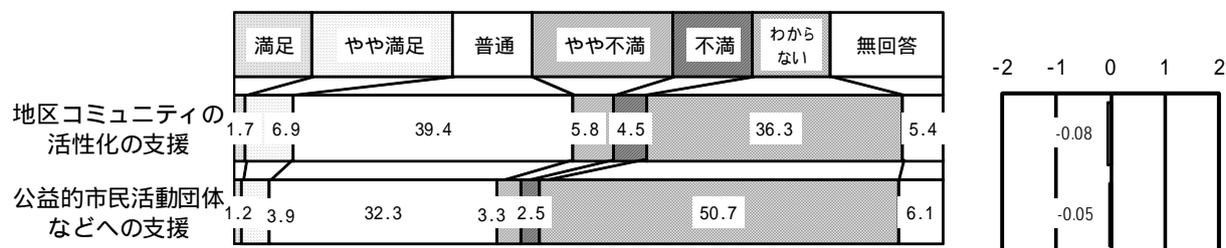
「がん検診など病気の予防対策」、「健康づくりの推進」については、「満足派」の割合が高く、「休日・夜間や緊急時の医療体制」は「不満派」の割合が高いことが特徴的である。

市民活動

総数=1113

単位: %

<評価点>



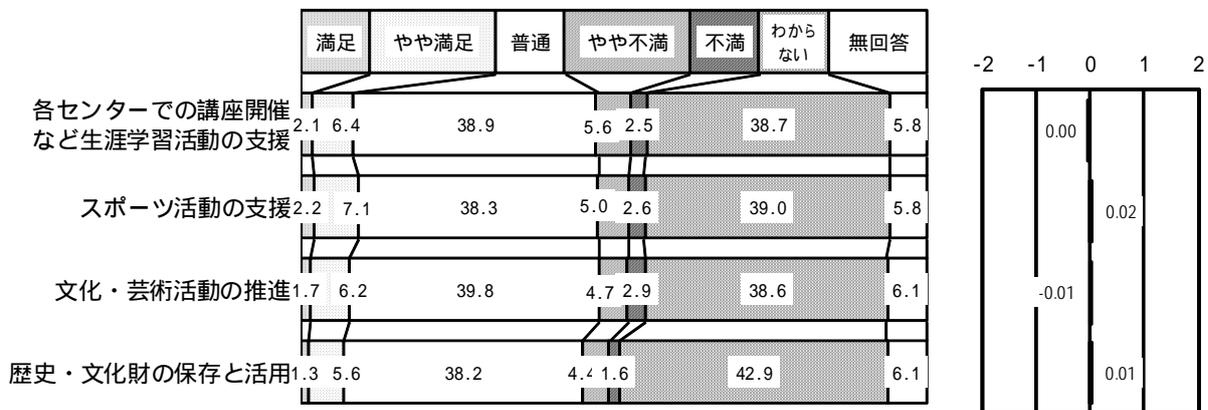
全体的に「満足派」の割合が低く、「不満派」の割合が高くなっている。なかでも「地域コミュニティの活性化支援」について「不満派」の割合が高くなっている。

生涯学習

総数=1113

単位:%

<評価点>



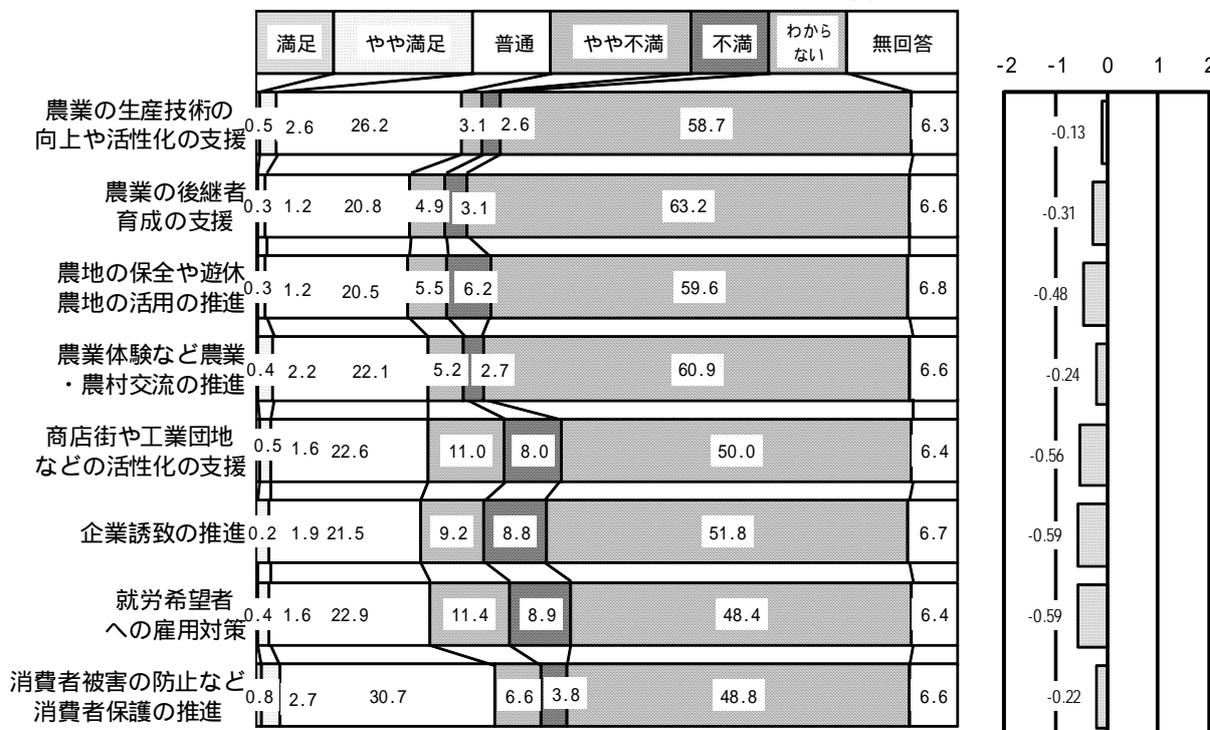
全体的に「満足派」の割合が高く、なかでも「スポーツ活動の支援」で高くなっている。一方、「各センターでの講座開催など生涯学習活動の支援」については「不満派」の割合も高くなっている。

産業振興

総数=1113

単位:%

<評価点>



全体的に「満足派」の割合が低く、「不満派」の割合が高くなっている。なかでも「就労希望者への雇用対策」、「商店街や工業団地などの活性化の支援」、「企業誘致の推進」について「不満派」の割合が高くなっている。

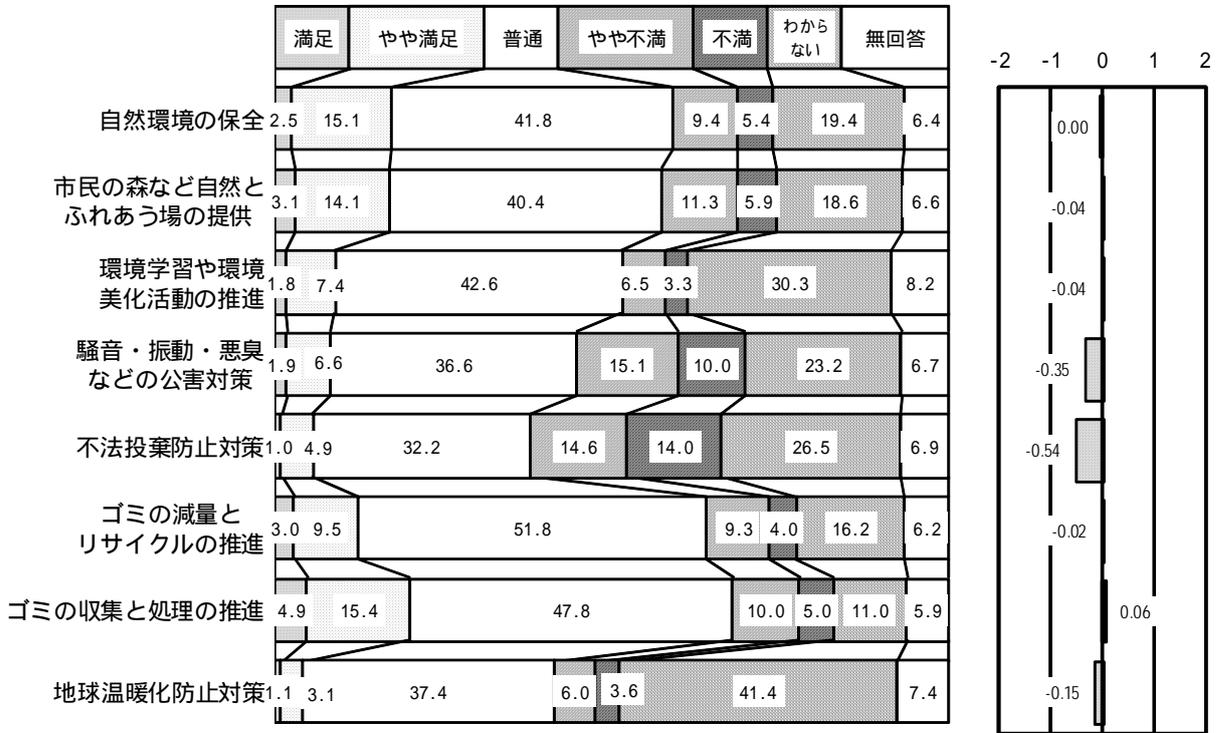
また、「わからない」との回答の割合が高くなっている。

自然環境・生活環境

総数=1113

単位:%

<評価点>



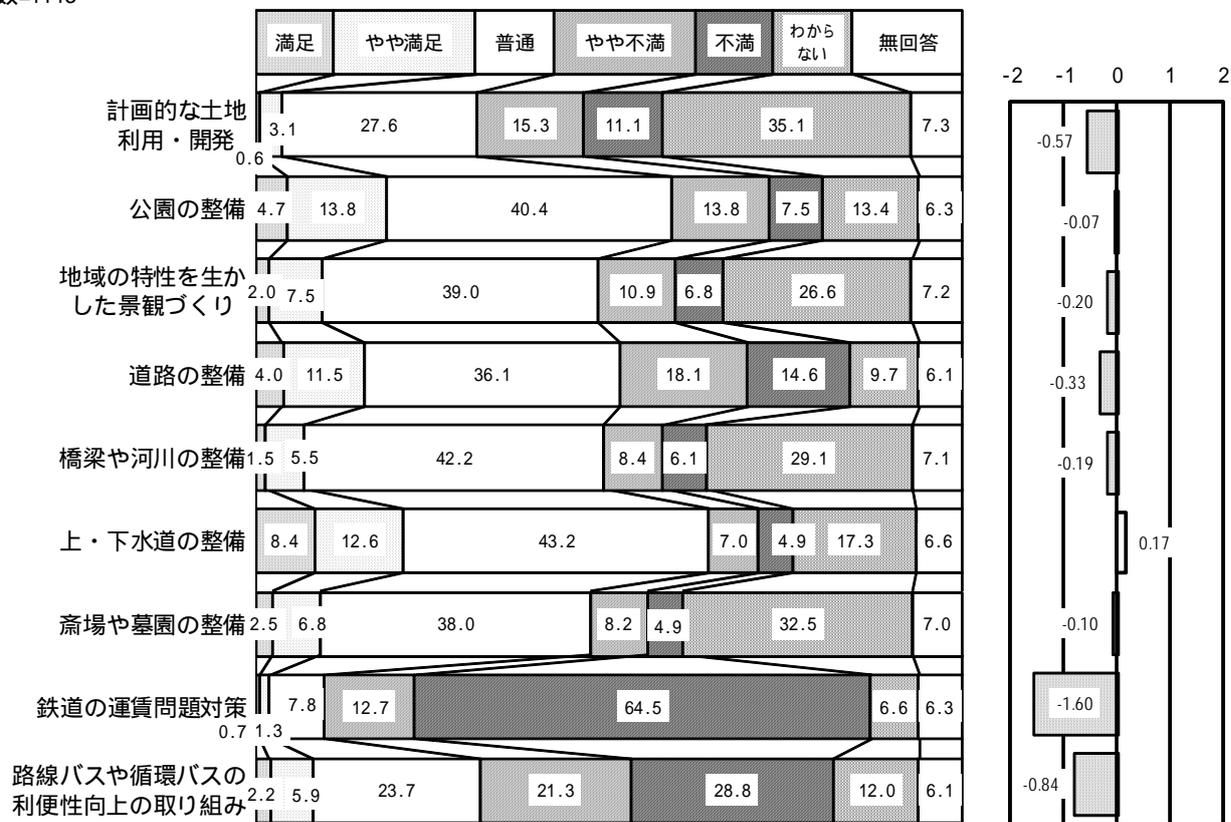
「ゴミ収集と処理の推進」、「自然環境の保全」については、「満足派」の割合が高く、「不法投棄防止対策」、「騒音・振動・悪臭などの公害対策」は「不満派」の割合が高いことが特徴的である。

住環境・生活基盤

総数=1113

単位:%

< 評価点 >



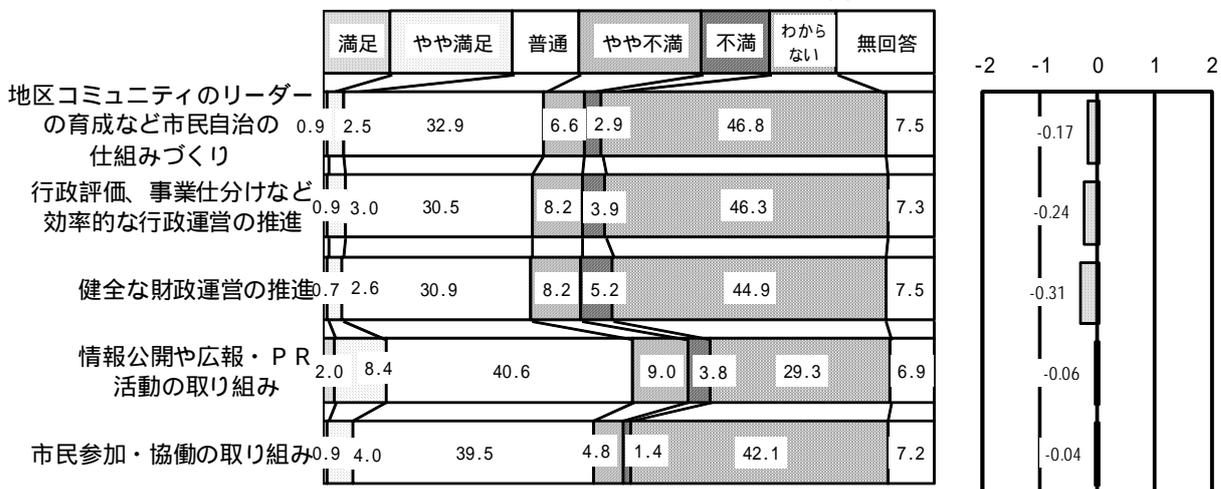
「上・下水道の整備」を除くと全体的に「満足派」の割合が低く、「不満派」の割合が高くなっている。なかでも「鉄道の運賃問題対策」、「路線バスや循環バスの利便性向上の取り組み」は「不満派」の割合が高くなっている。

行財政・市民参加・協働

総数=1113

単位:%

<評価点>



全体的に「満足派」の割合が低く、「不満派」の割合が高くなっている。なかでも「健全な財政運営」、「情報公開や広報・PR活動の取り組み」、「行政評価、事業仕分けなど効率的な行政運営の推進」について「不満派」の割合が高くなっている。

また、「わからない」との回答の割合が高くなっている。

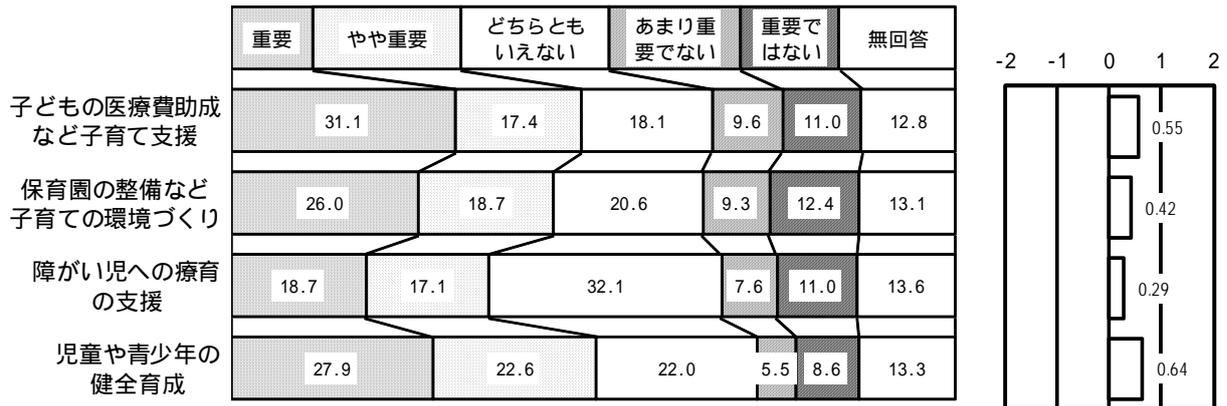
(2) 施策の重要度

子育て

総数=1113

単位:%

<評価点>



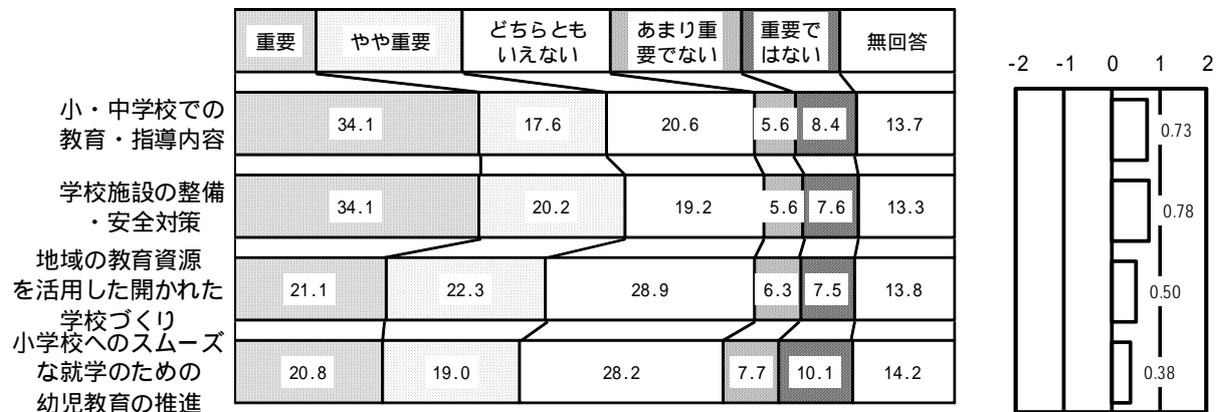
全体的に「重要派(「重要」と「やや重要」の合計)」の割合が高く、なかでも「児童や青少年の健全育成」、「子どもの医療費助成など子育て支援」、「保育園の整備など子育ての環境づくり」が高くなっている。

教育

総数=1113

単位：%

<評価点>



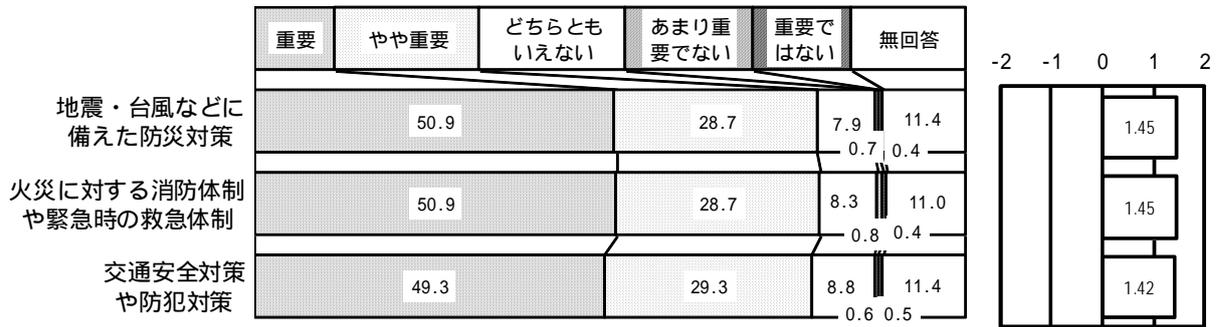
「学校施設の整備・安全対策」、「小・中学校での教育・指導内容」で「重要派」の割合が高く、5割を超えている。

防災・防犯

総数=1113

単位:%

<評価点>



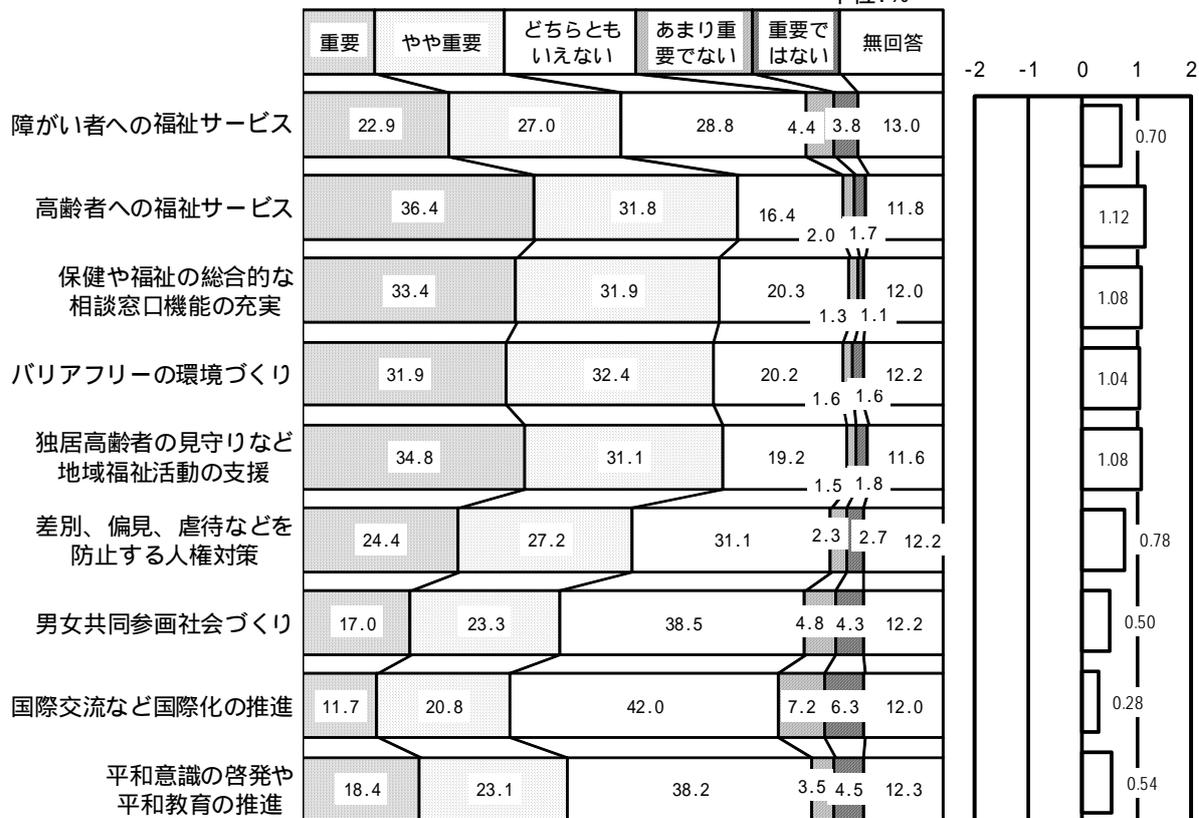
すべての施策について「重要派」が7割を超えている。

福祉

総数=1113

単位:%

<評価点>



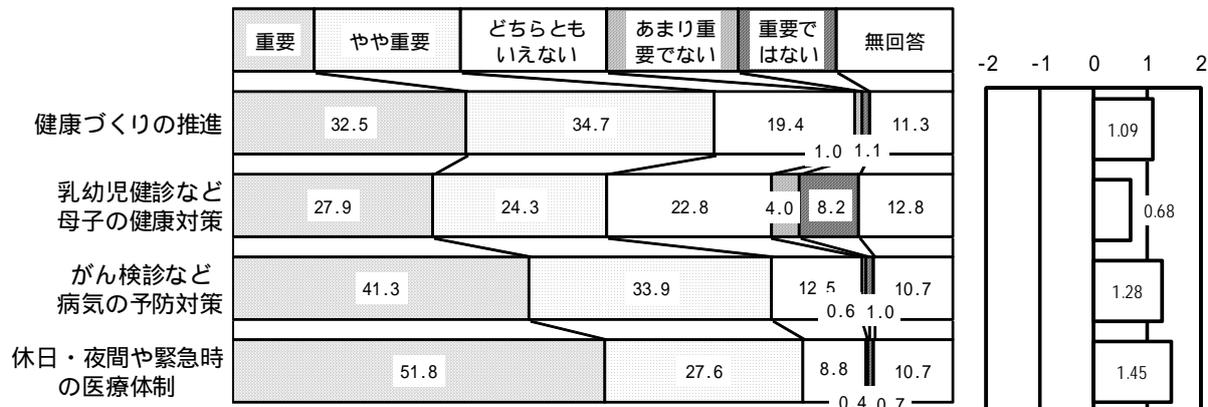
「高齢者への福祉サービス」、「独居高齢者の見守りなど地域福祉活動の支援」、「保健や福祉の総合的な相談窓口機能の充実」、「バリアフリーの環境づくり」については「重要派」が6割を超えている。「差別、偏見、虐待などを防止する人権対策」、「障がい者への福祉サービス」の「重要派」の割合も高くなっている。

健康・保健・医療

総数=1113

単位:%

<評価点>



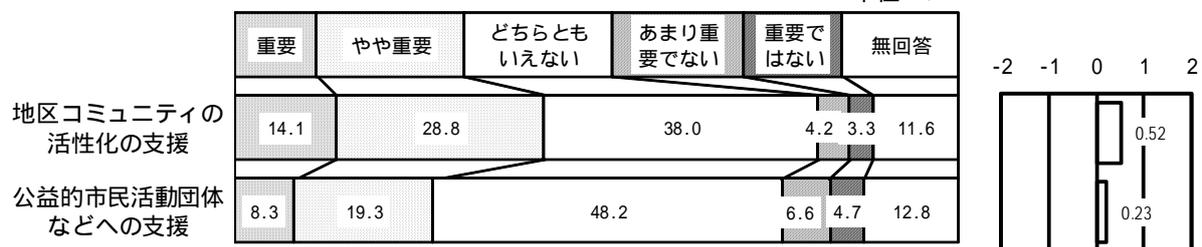
すべての施策について「重要派」が5割を超えている。なかでも「休日・夜間や緊急時の医療体制」、「がん検診など病気の予防対策」については「重要派」の割合が7割を超えている。

市民活動

総数=1113

単位:%

<評価点>



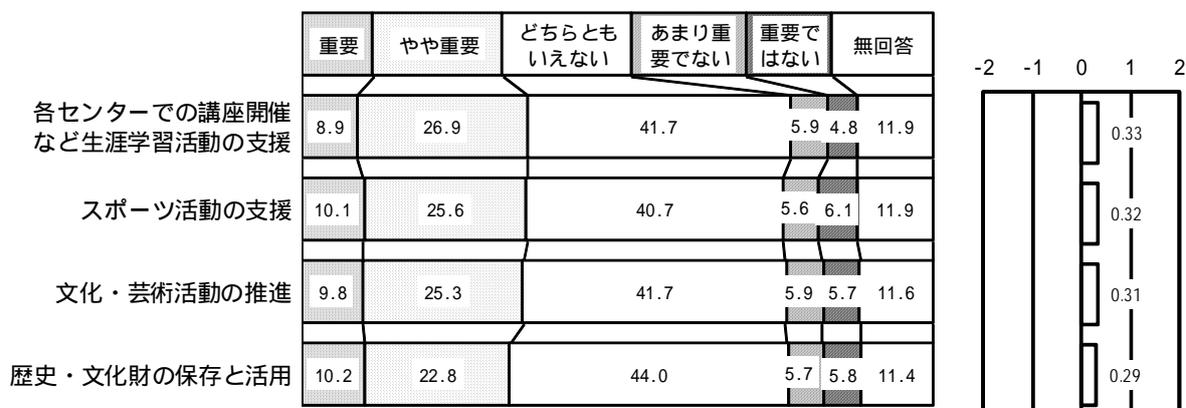
全体的に「重要派」の割合が高く、なかでも「地域コミュニティの活性化の支援」が高くなっている。

生涯学習

総数=1113

単位:%

<評価点>



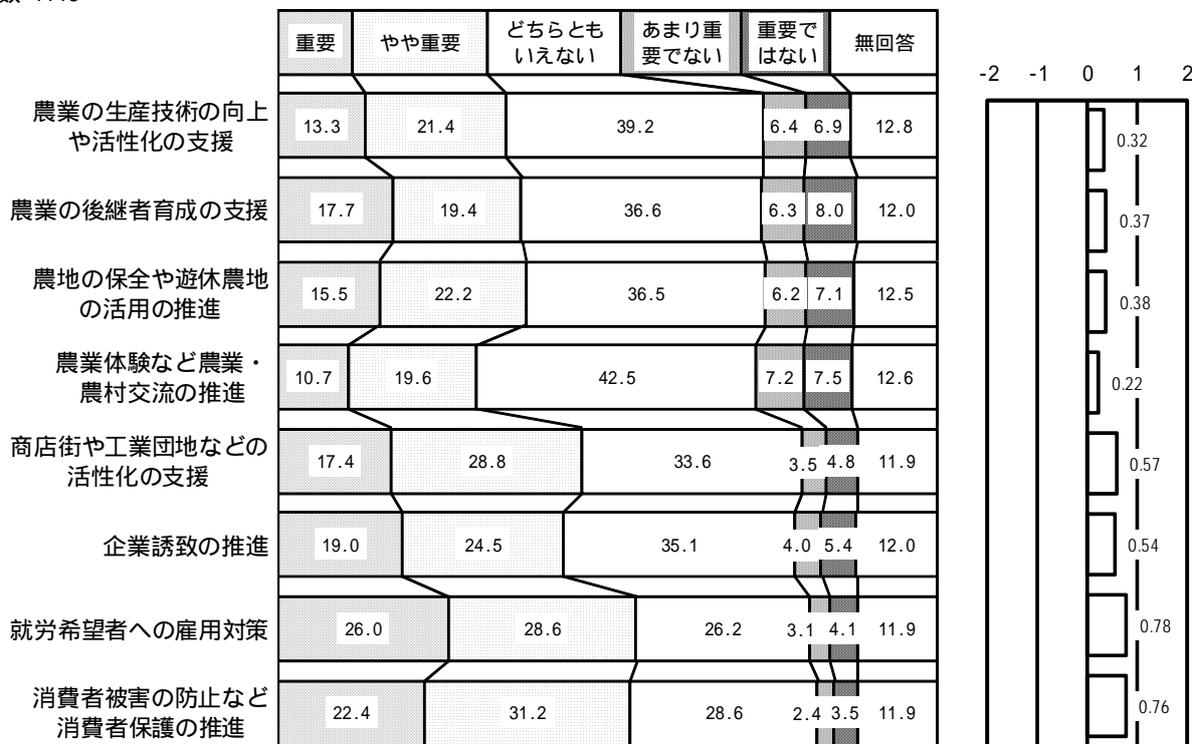
すべての施策について「重要派」が3割を超えている。

産業振興

総数=1113

単位:%

<評価点>



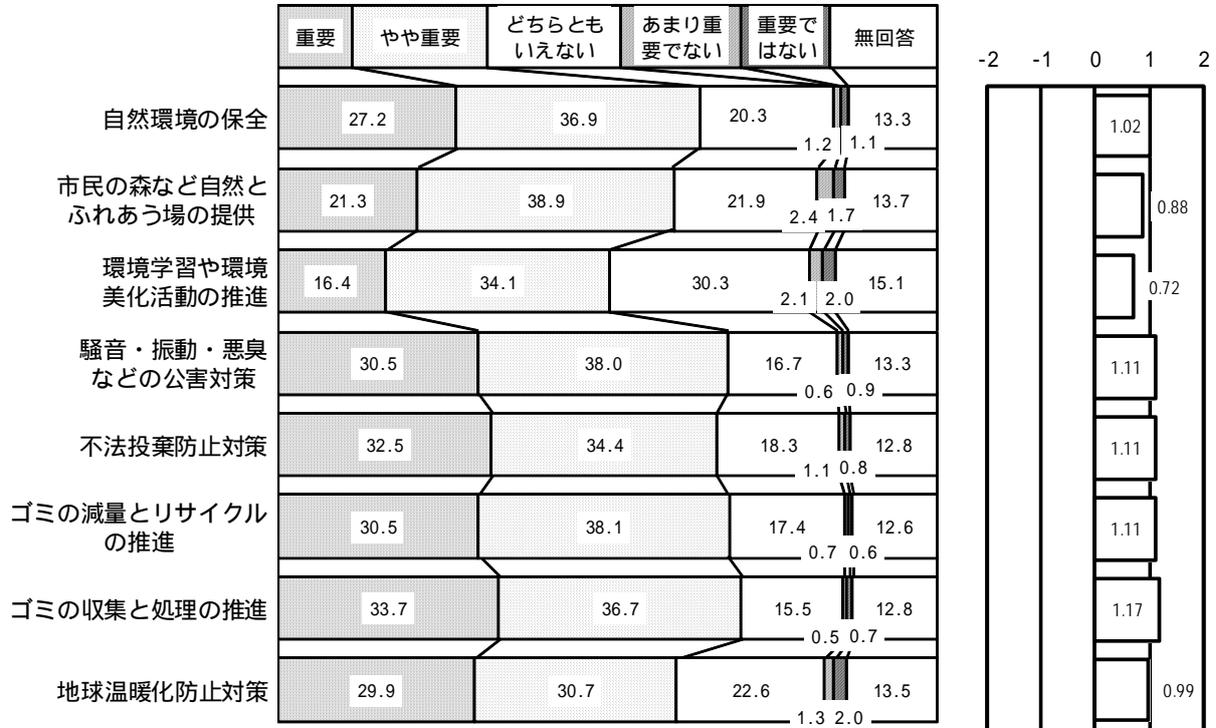
すべての施策について「重要派」が3割を超えている。なかでも「就労希望者への雇用対策」、「消費者被害の防止など消費者保護の推進」については「重要派」の割合が5割を超えている。

自然環境・生活環境

総数=1113

単位:%

<評価点>



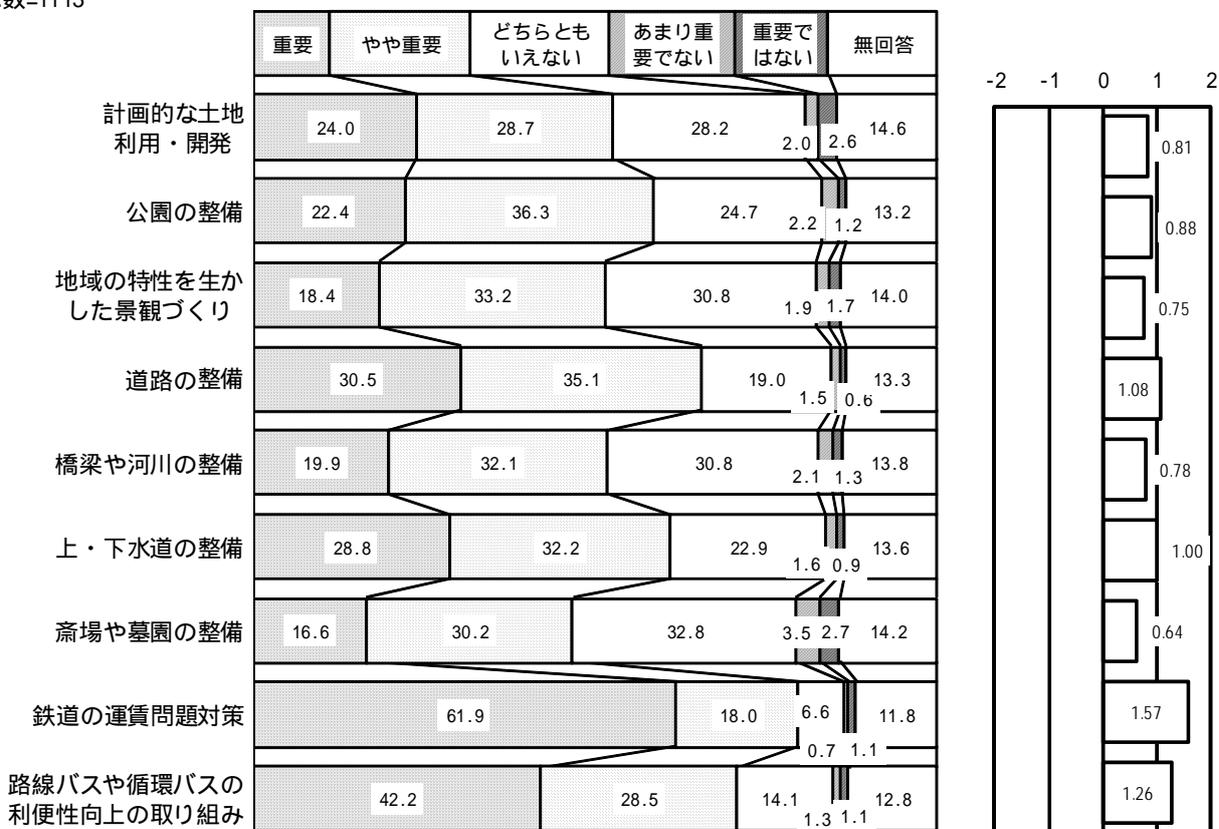
すべての施策について「重要派」が5割を超えている。「環境学習や環境美化活動の推進」は「重要派」が50.5%となっているが、それ以外については「重要派」が6割を超えている。なかでも「ゴミの収集と処理の推進」については「重要派」の割合が7割を超えている。

住環境・生活基盤

総数=1113

単位:%

<評価点>



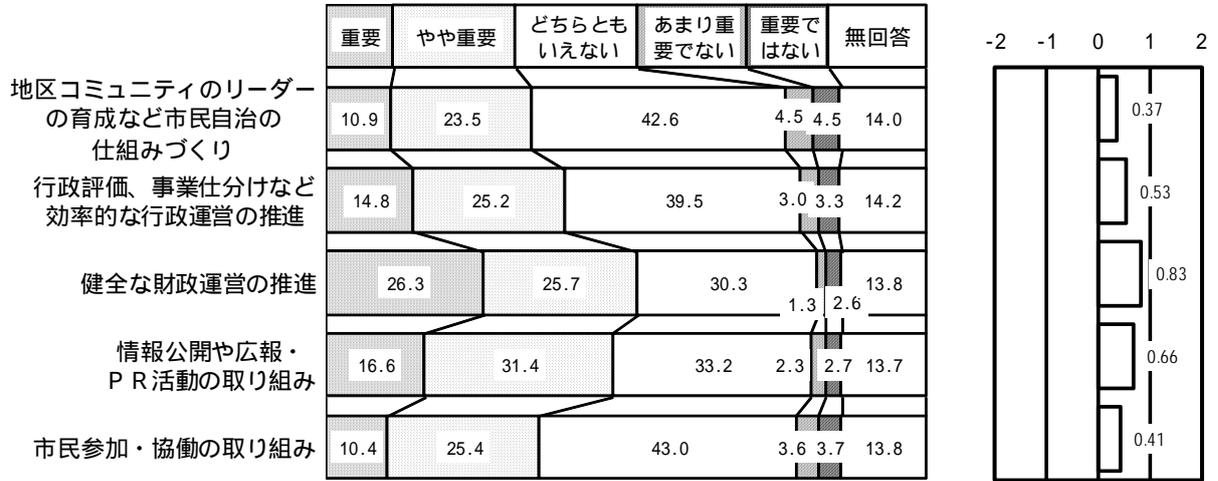
「斎場や墓園の整備」(46.8%)以外の施策はすべて「重要派」の割合が5割を超えている。なかでも「鉄道の運賃問題対策」は「重要派」の割合が高く、「重要」との回答だけで6割を超えている。「路線バスや循環バスの利便性向上の取り組み」についても「重要派」が7割を超えている。

行財政・市民参加・協働

総数=1113

単位：%

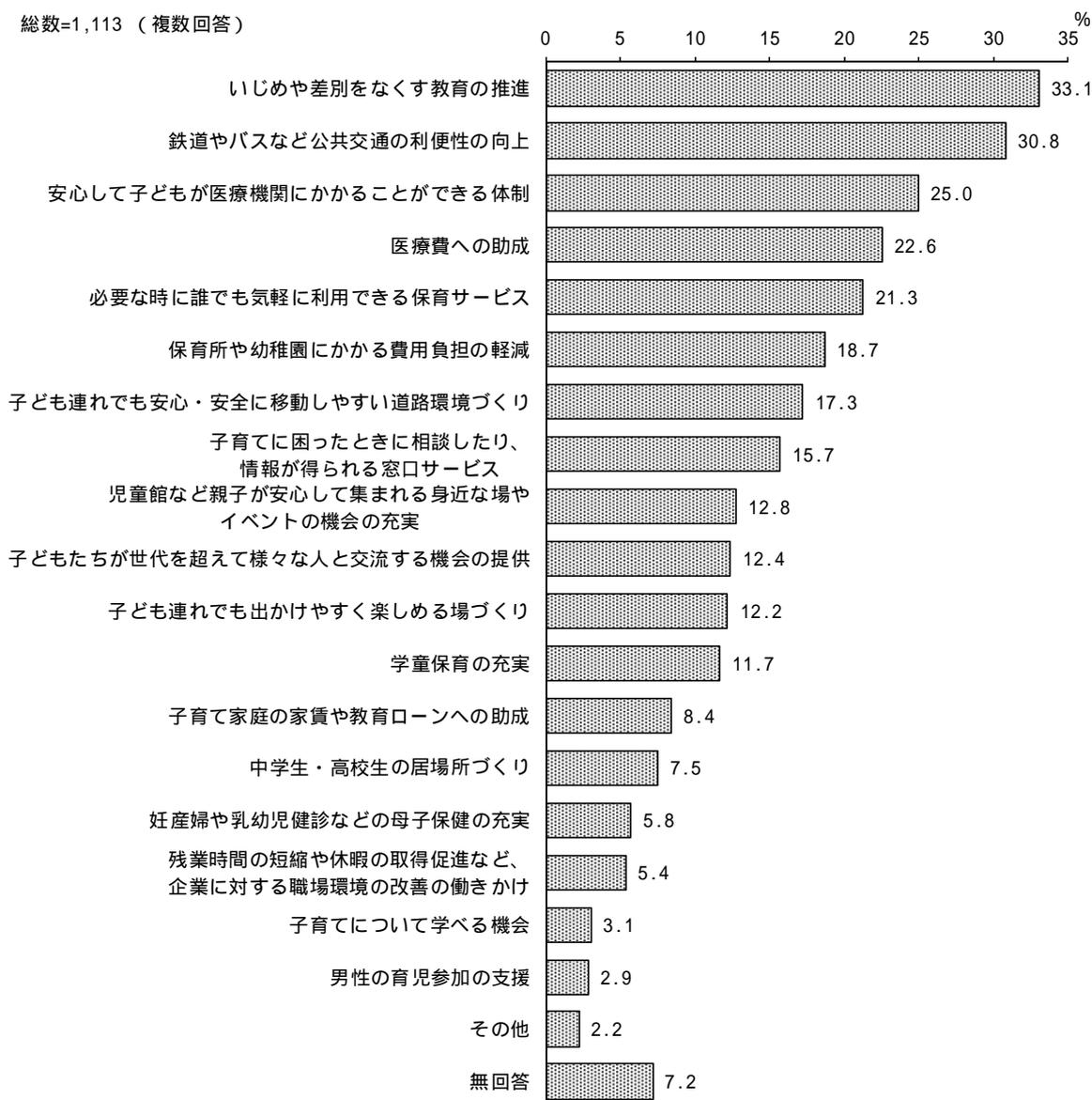
<評価点>



すべての施策について「重要派」が3割を超えている。なかでも「健全な財政運営の推進」については「重要派」の割合が5割を超えている。

5 子育て支援について

【問7】あなたは、市の子育て支援対策として、どのような取り組みを充実させていくべきとお考えですか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。

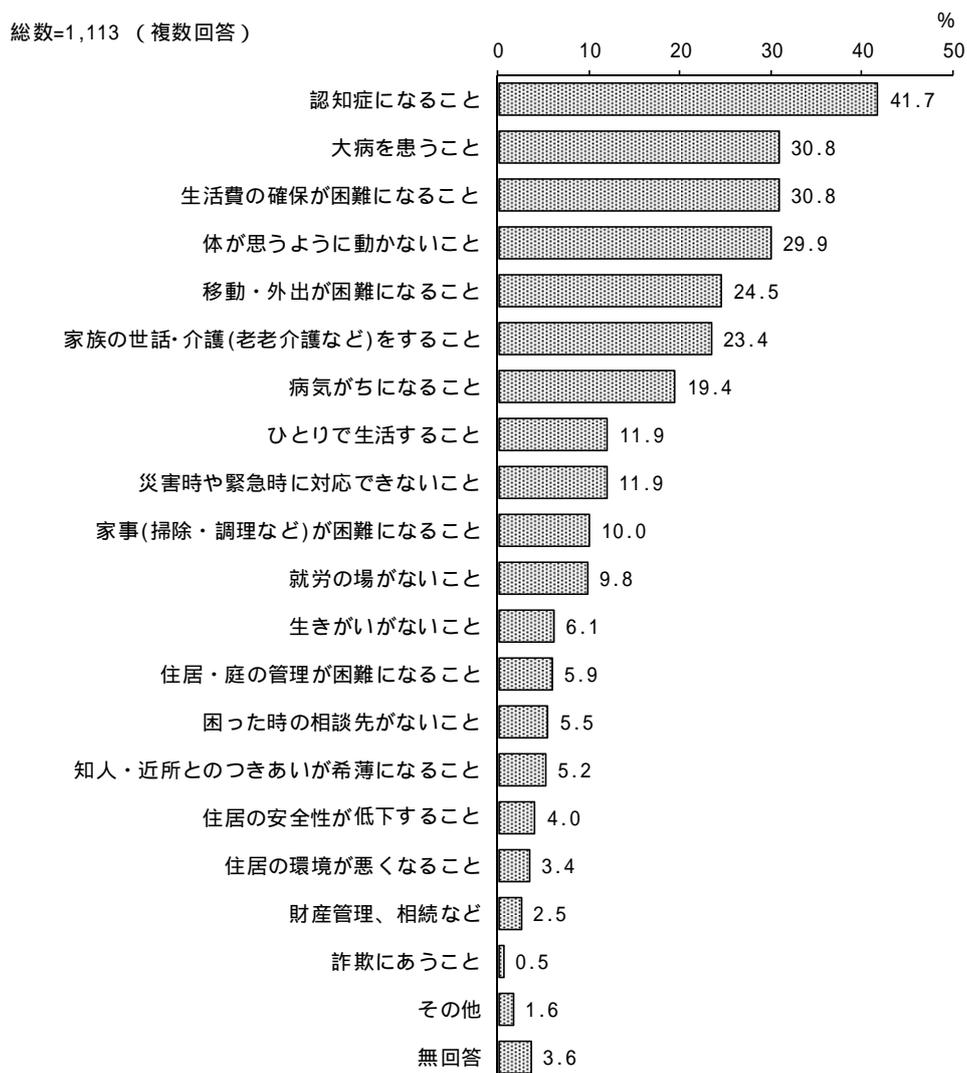


市の子育て支援対策は、「いじめや差別をなくす教育の推進」(33.1%)、「鉄道やバスなど公共交通の利便性の向上」(30.8%)が3割を超えて多くなっている。続いて「安心して子どもが医療機関にかかることができる体制」(25.0%)、「医療費の助成」(22.6%)、「必要な時に誰でも気軽に利用できる保育サービス」(21.3%)の順となっている。

6 高齢期の生活について

(1) 高齢期の生活の不安について

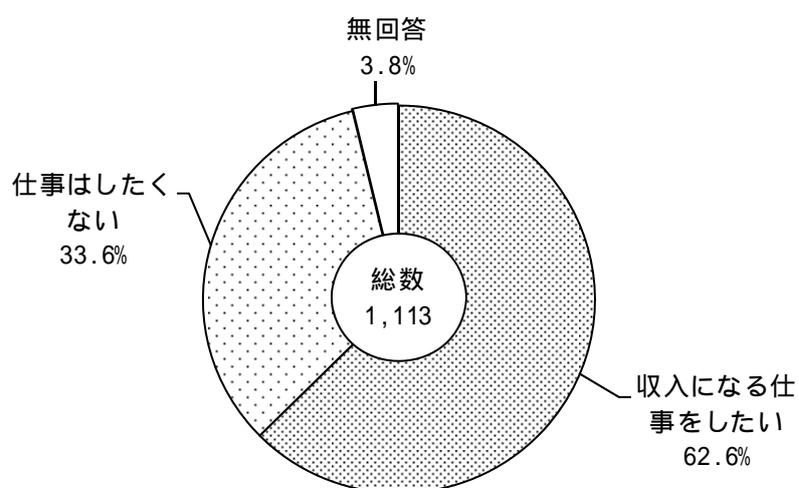
【問8】あなたの高齢期（高齢期になった時）の生活に不安があるとしたら何ですか。次の中から3つまで選んで番号にをつけてください。



高齢期の生活の不安については、「認知症になること」(41.7%)が4割を超えて多くなっている。続いて「大病を患うこと」(30.8%)、「生活費の確保が困難になること」(30.8%)の順となっている。

(1) 高齢期の就労について

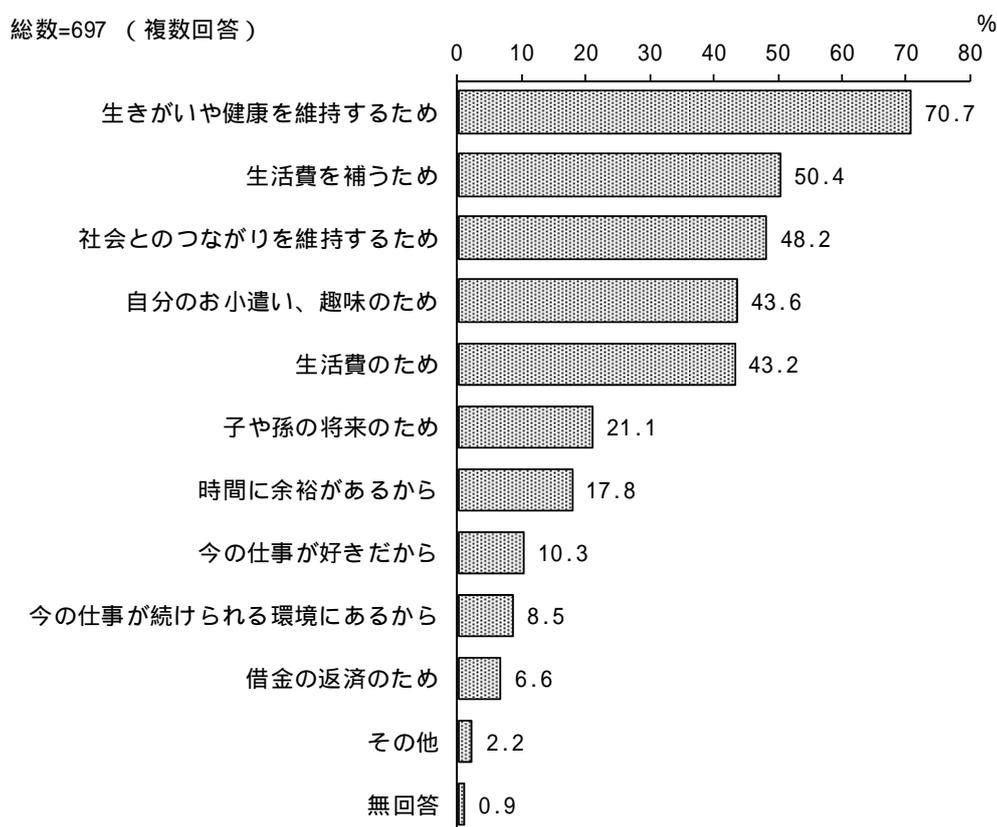
【問9】あなたは、高齢期（高齢期になった時）においても何か収入になる仕事をしたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



高齢期の就労については、「収入になる仕事をしたい」(62.6%)との回答が6割強である。一方、「仕事はしたくない」(33.6%)との回答が3割強となっている。

収入になる仕事をしたい理由

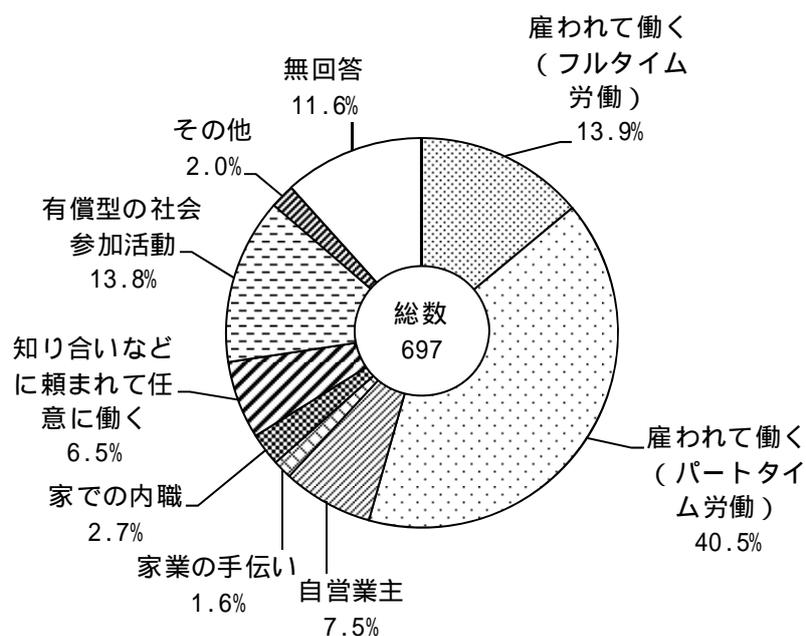
【問9 - 1】あなたが、収入になる仕事をしたい理由はなんですか。次の中から該当するものすべてを選んで番号に をつけてください。



収入になる仕事をしたい理由としては、「生きがいや健康を維持するため」(70.7%)が7割を超えて最も多くなっている。続いて「生活費を補うため」(50.4%)、「社会とのつながりを維持するため」(48.2%)の順となっている。

収入になる仕事の形態

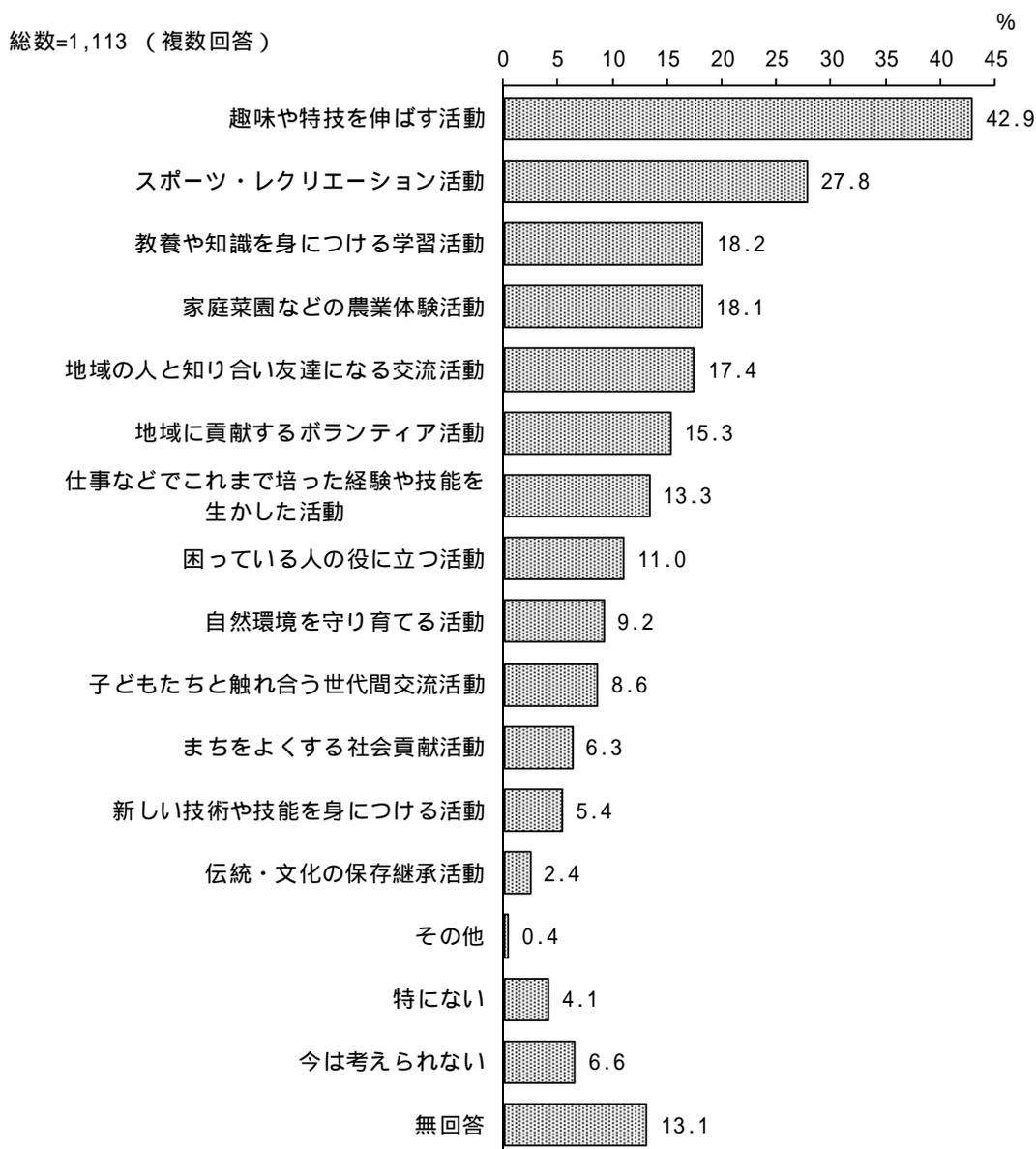
【問9 - 2】あなたは、どのようなかたちで収入になる仕事をしたいですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



収入になる仕事の形態については、「雇われて働く (パートタイム労働)」(40.5%) が 4 割を超えて最も高くなっている。続いて「雇われて働く (フルタイム労働)」(13.9%)、「有償型の社会参加活動」(13.8%) の順となっている。

(2) 高齢期の活動について

【問10】あなたは、高齢期（高齢期になった時）に、仕事以外でどのような活動をしたいと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。

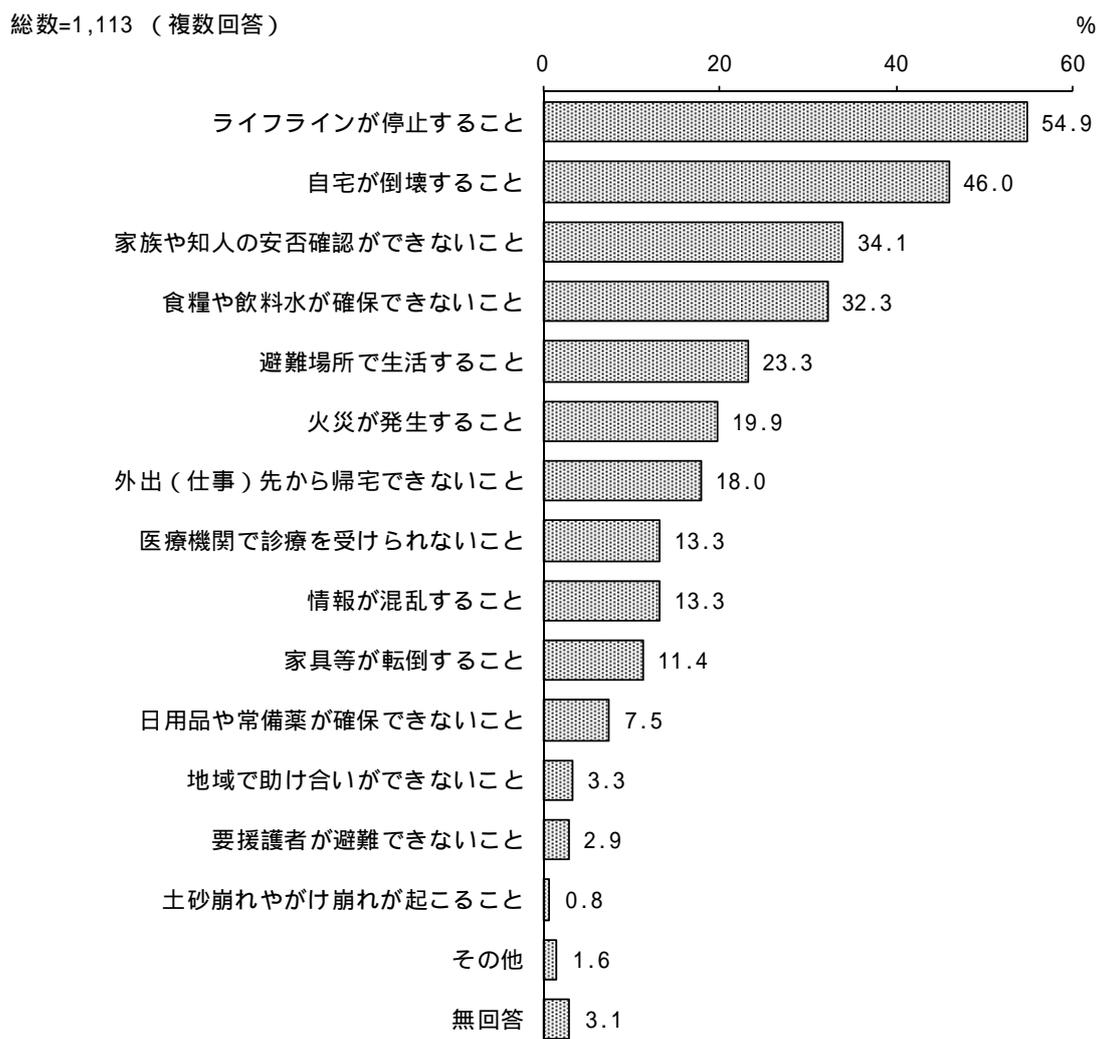


高齢期の活動については、「趣味や特技を伸ばす活動」(42.9%)が4割強と最も多くなっている。続いて「スポーツ・レクリエーション活動」(27.8%)が多くなっている。

7 防災について

(1) 大地震が発生した場合に心配なこと

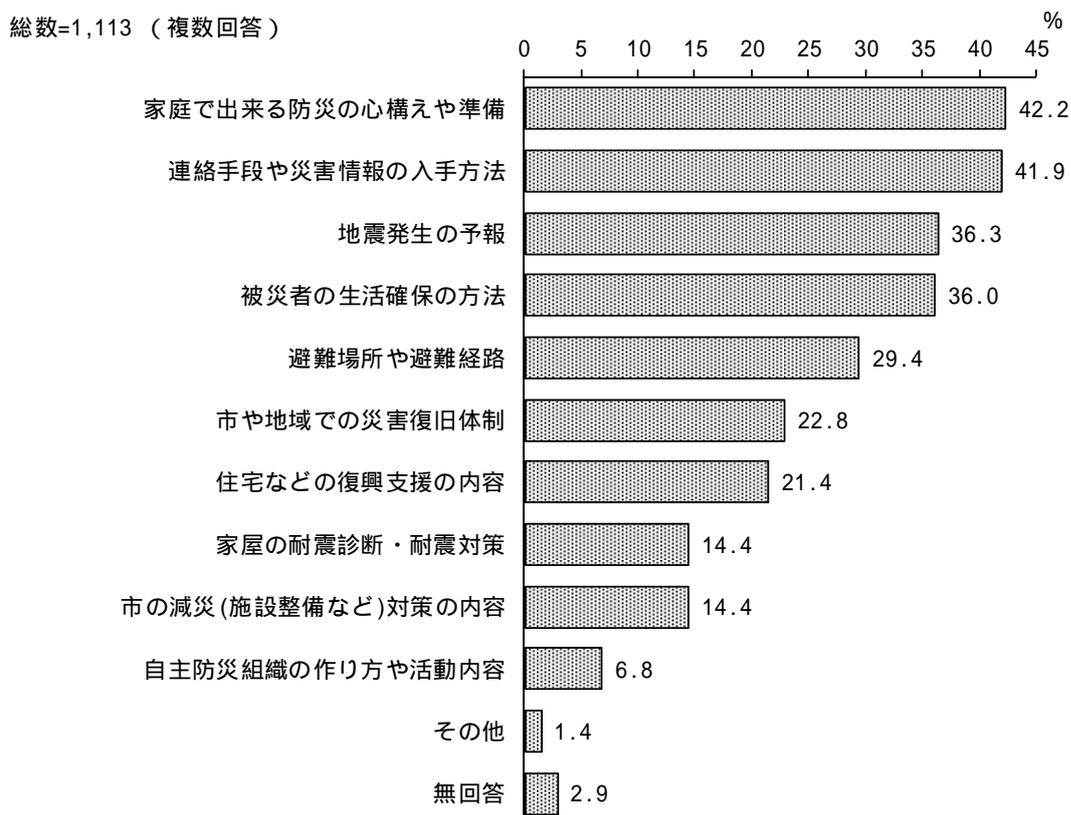
【問11】今後大きな地震が発生した場合、あなたが心配に思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで番号にをつけてください。



大震災が発生した場合に心配なことは「ライフラインが停止すること」(54.9%)が5割強と最も多くなっている。続いて「自宅が倒壊すること」(46.0%)、「家族や知人の安否確認ができないこと」(34.1%)、「食糧や飲料水が確保できないこと」(32.3%)の順となっている。

(2) 災害全般に関して日頃から得たい知識や情報

【問 1 2】あなたは、災害全般に関して日頃からどのような知識や情報を得たいと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。

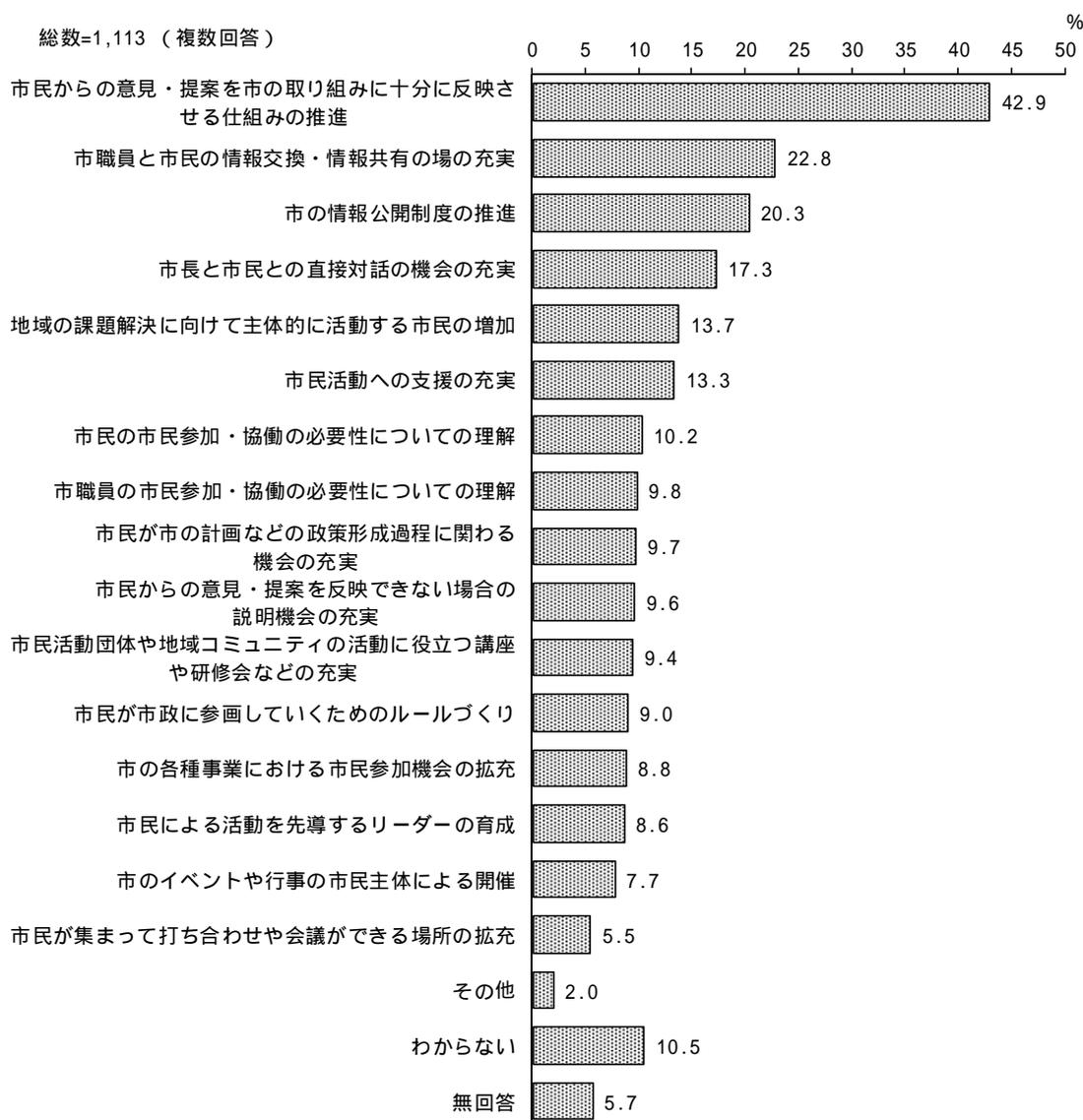


災害全般に関して日頃から得たい知識や情報は「家庭で出来る防災の心構えや準備」(42.2%)、「連絡手段や災害情報の入手方法」(41.9%)が4割強と最も多くなっている。続いて「地震発生の予報」(36.3%)、「被災者の生活保護の方法」(36.0%)の順となっている。

8 市民参加・協働によるまちづくりについて

(1) 市民参加・協働のまちづくりに必要な取り組みについて

【問13】あなたは、市で市民参加・協働によるまちづくり()をより一層進めるために、特に何が重要だと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。



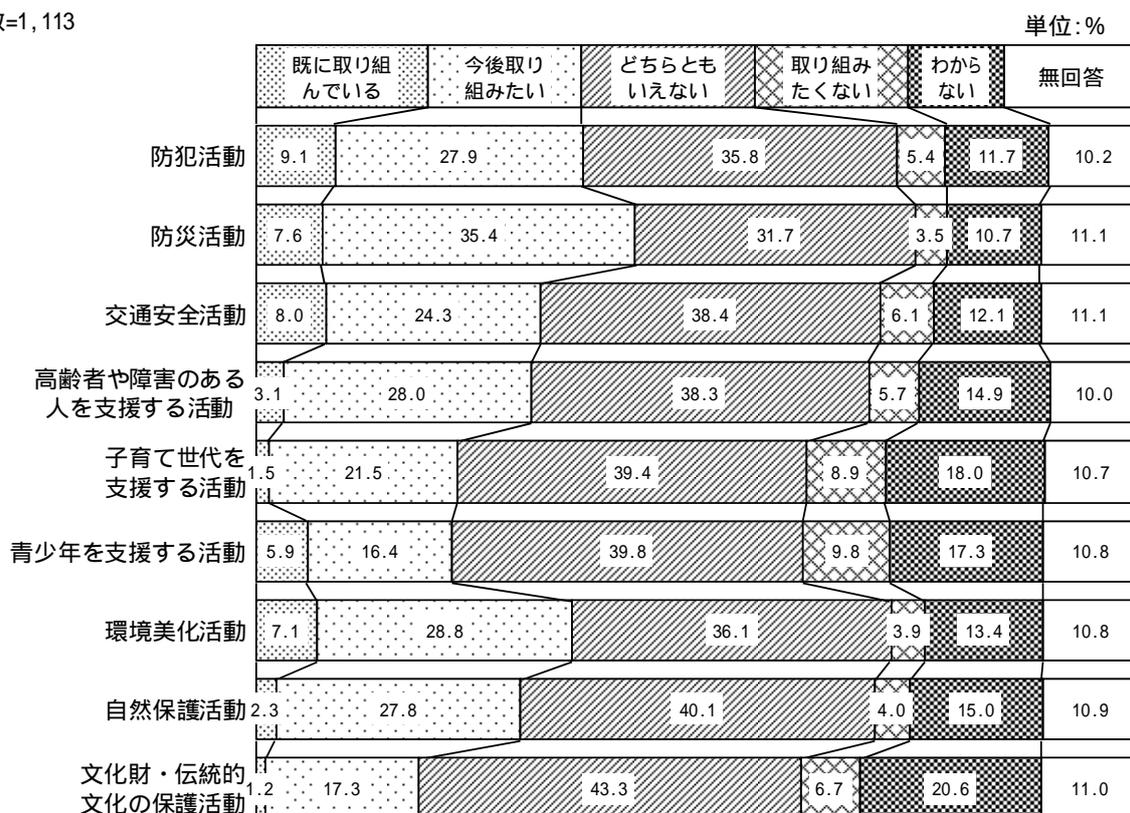
市民参加・市民協働のまちづくりに必要な取り組みは「市民からの意見・提案を市の取り組みに十分に反映させる仕組みの推進」(42.9%)が4割強と最も多くなっている。続いて「市職員と市民の情報交換・情報共有の場の充実」(22.8%)、「市の情報公開制度の推進」(20.3%)の順となっている。

(4) 市民参加・協働のまちづくりの参加状況と取り組み主体について

【問14】あなたは、次のような活動に取り組んでいますか、あるいは取り組みたいと思いますか。また、その活動は市民と市役所のどちらが中心となって取り組むべきだと思いますか。9つの活動のすべてについて、それぞれ1つずつ選んで番号にをつけてください。

市民参加・協働のまちづくりの参加状況

総数=1,113

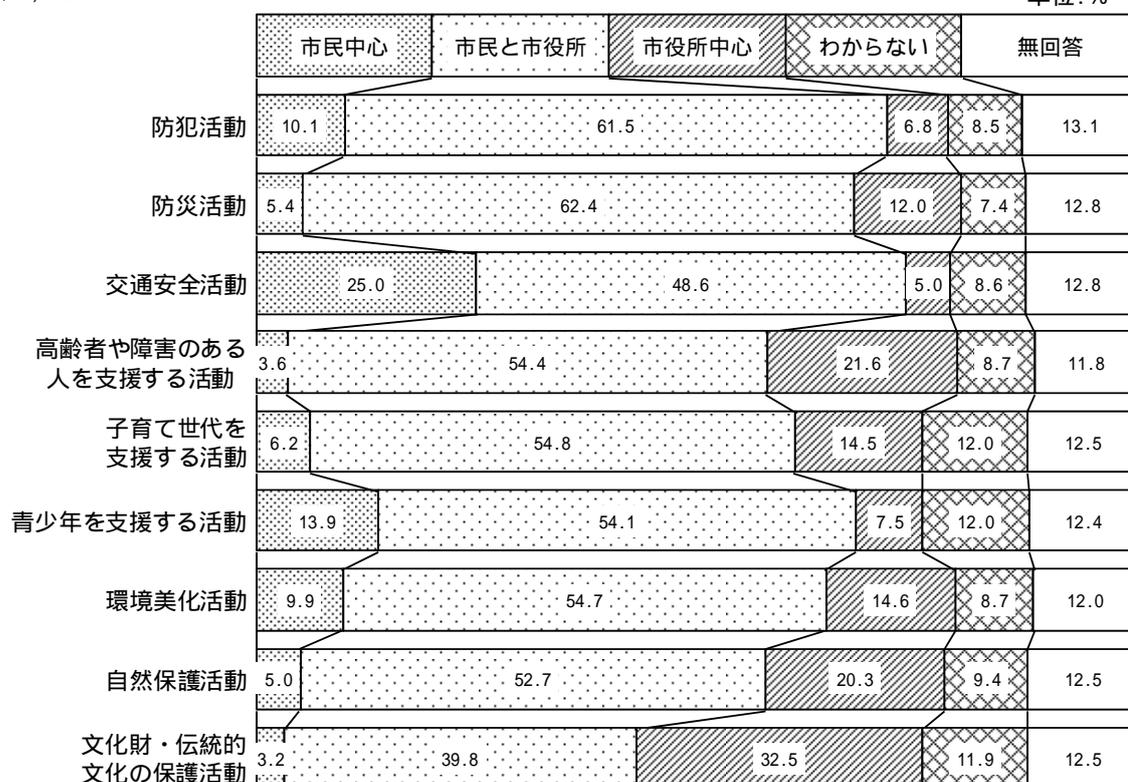


既に取り組んでいる活動として割合が高いものは「防犯活動」(9.0%)、「交通安全活動」(8.0%)である。今後取り組みたい活動として割合が高いものは「防災活動」(35.4%)、「環境美化活動」(28.8%)である。また、取り組みたくない活動として割合が高いものは「青少年を支援する活動」(9.8%)、「子育て世代を支援する活動」(8.9%)である。

市民参加・協働のまちづくりの取り組み主体

総数=1,113

単位:%

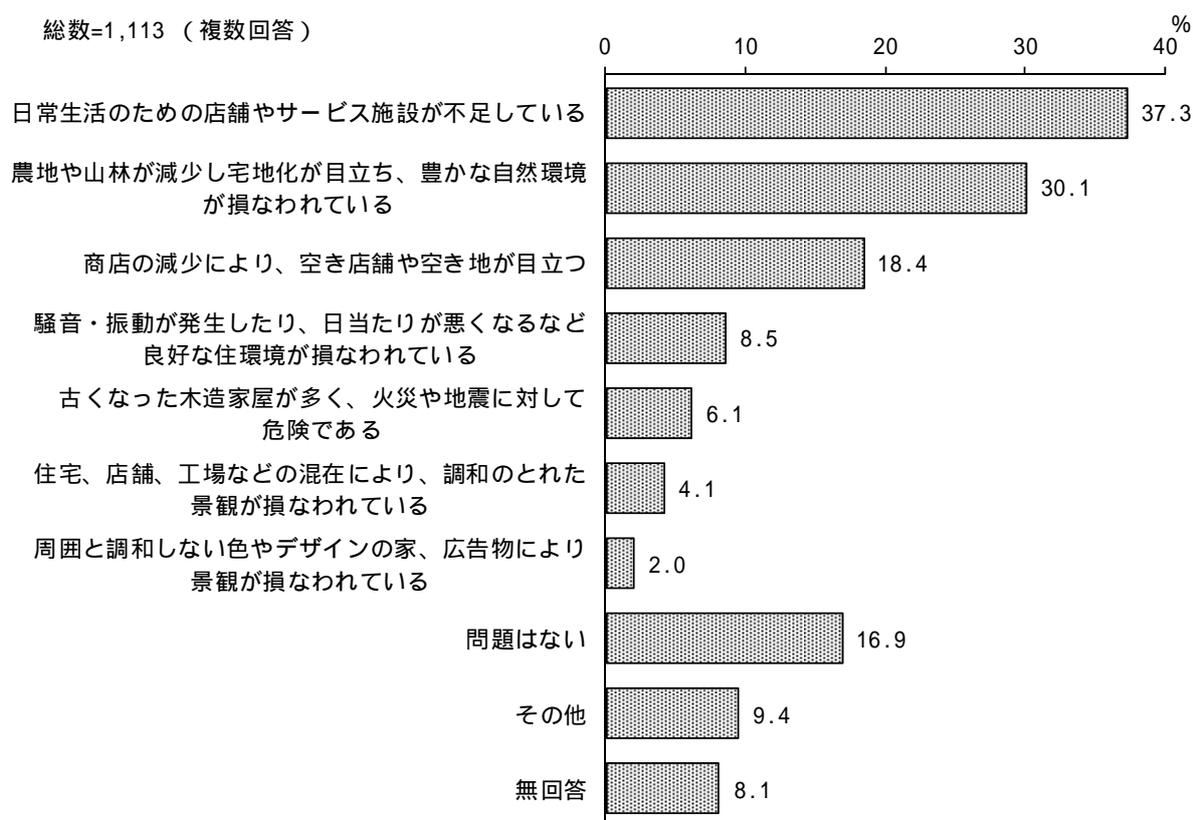


市民中心の活動として割合が高いものは「交通安全活動」(25.0%)、「青少年を支援する活動」(13.9%)である。一方、市役所中心の活動として割合が高いものは「文化財・伝統的文化的保護活動」(32.5%)、「高齢者や障害のある人を支援する活動」(21.6%)である。また、市民と市役所が一緒に取り組むべき活動として割合が高いものは「防災活動」(62.4%)、「防犯活動」(61.5%)である。

9 市の土地利用について

(1) 生活環境や土地利用についての問題点

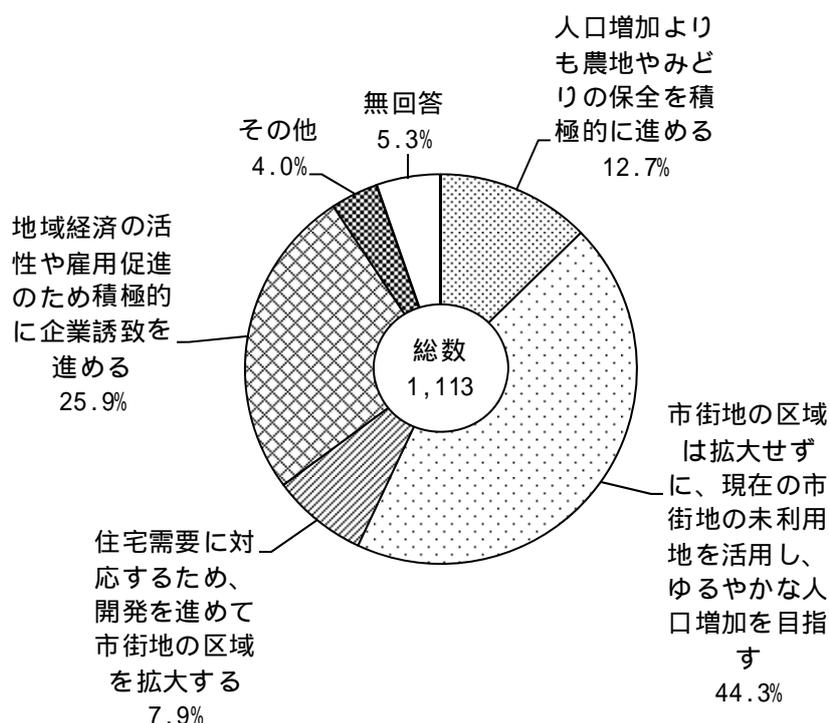
【問15】あなたは、お住まいの地区（問32で示す地区）の生活環境や土地利用について、どのようなことが問題だと思えますか。次の中から2つまで選んで番号にをつけてください。



生活環境や土地利用についての問題点としては「日常生活のための店舗やサービス施設が不足している」(37.3%)が4割弱と最も多くなっている。続いて「農地や山林が減少し宅地化が目立ち、豊かな自然環境が損なわれている」(30.1%)、「商店の減少により、空き店舗や空き地が目立つ」(18.4%)の順となっている。一方、「問題はない」(16.9%)との回答も多くなっている。

(2) 都市基盤に必要なことについて

【問16】あなたは、市のこれからの都市整備に必要なことは何だと思えますか。次の中から1つ選んで番号にをつけてください。

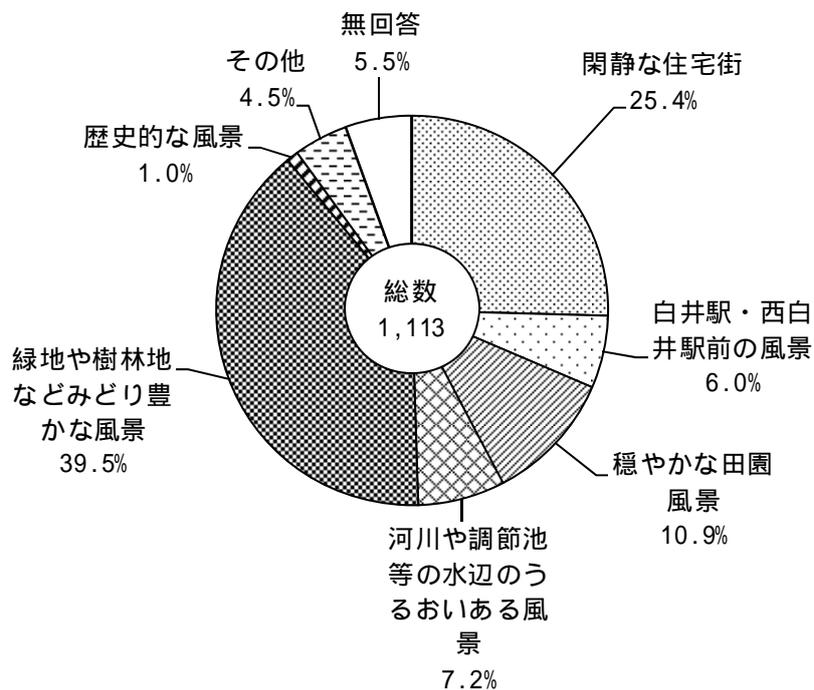


都市基盤に必要なことは「市街地の区域は拡大せず、現在の市街地の未利用地を活用し、ゆるやかな人口増加を目指す」(44.3%)が4割強と最も高くなっている。続いて「地域経済の活性化や雇用促進のため積極的に企業誘致を進める」(25.9%)、「人口増加よりも農地やみどりの保全を積極的に進める」(12.7%)の順となっている。

10 市のまちづくりや地区のまちづくりについて

(1) 優れた景観について

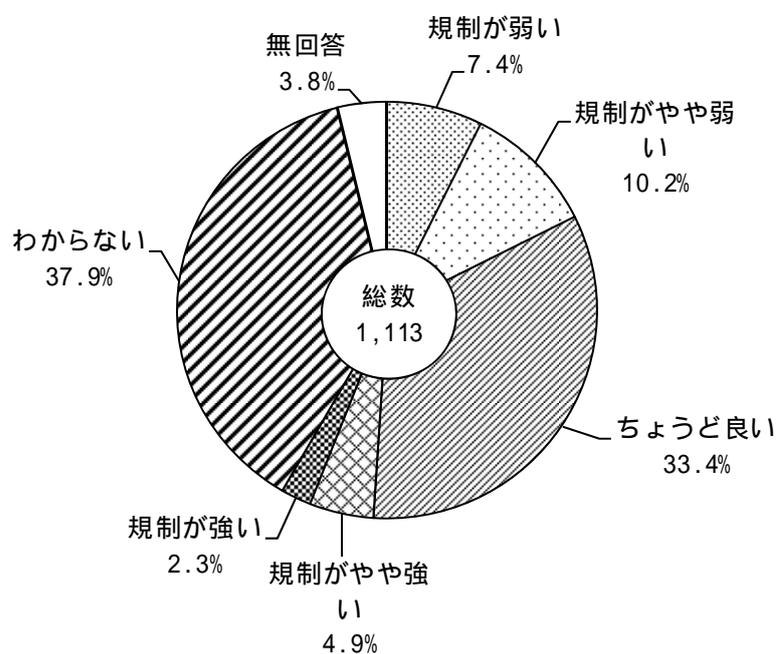
【問17】あなたは、白井市の優れた景観とはどのようなものだと思いますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



市の優れた景観としては「緑地や樹林地などみどり豊かな風景」(39.5%)が4割弱と最も高くなっている。続いて「閑静な住宅街」(25.4%)、「穏やかな田園風景」(10.9%)の順となっている。

(2) 都市計画の規制について

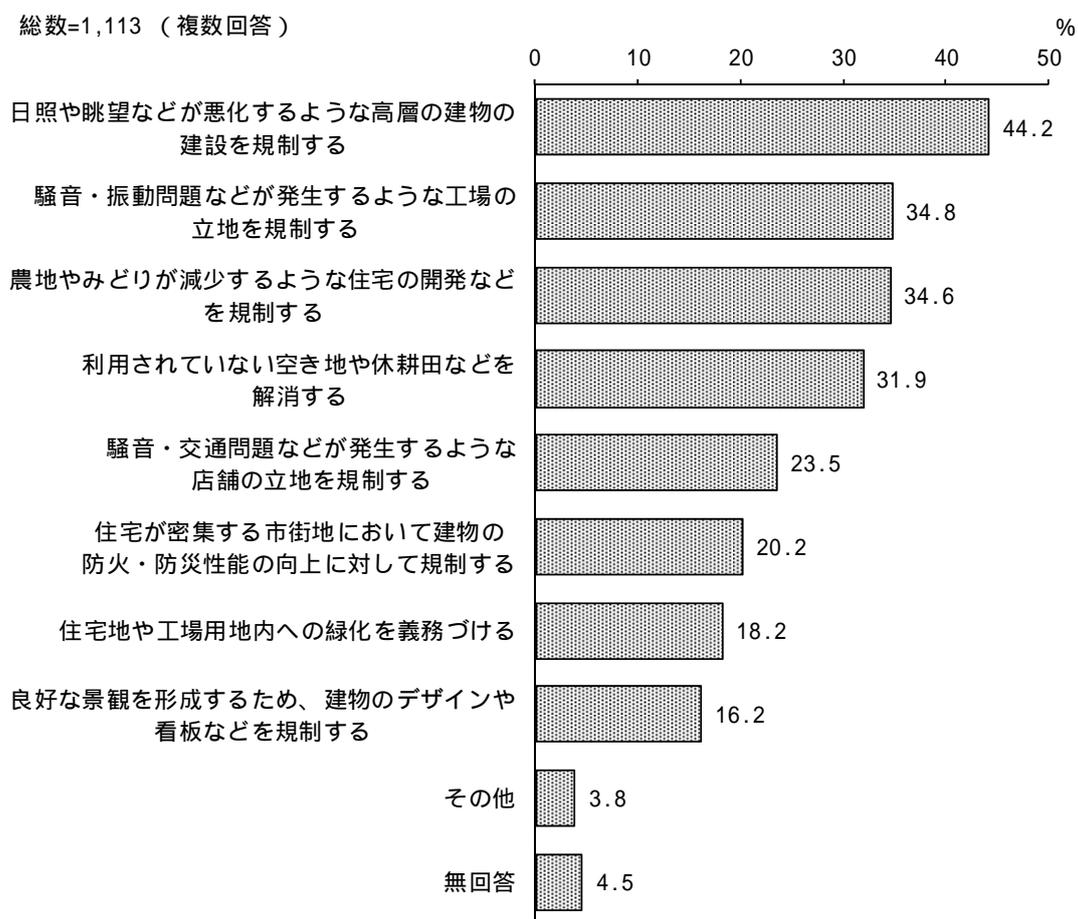
【問 1 8】都市計画では、建物を建てることのできる地域や、建てることのできる建物の用途や高さを規制しています。あなたは、この都市計画の規制についてどのように感じていますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



都市計画の規制について感じることは「ちょうど良い」(33.4%)が3割強と高い一方で、「わからない」(37.9%)との回答が最も高くなっている。

(3) 地区の環境をより良くするために必要な規制について

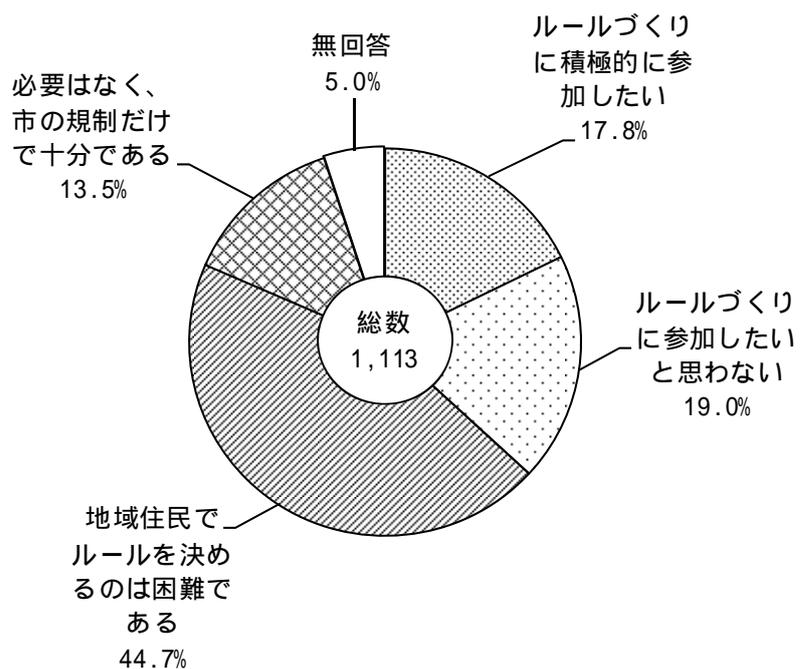
【問19】あなたは、お住まいの地区（問32で示す地区）の環境をより良くするためにどのような規制が必要だと思えますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。



地区の環境をより良くするために必要な規制としては「日照や眺望などが悪化するような高層の建物の建設を規制する」(44.2%)が4割強と最も多くなっている。続いて「騒音・振動問題などが発生するような工場の立地を規制する」(34.8%)、「農地やみどりが減少するような住宅の開発などを規制する」(34.6%)の順となっている。

(4) 地域のルールについて

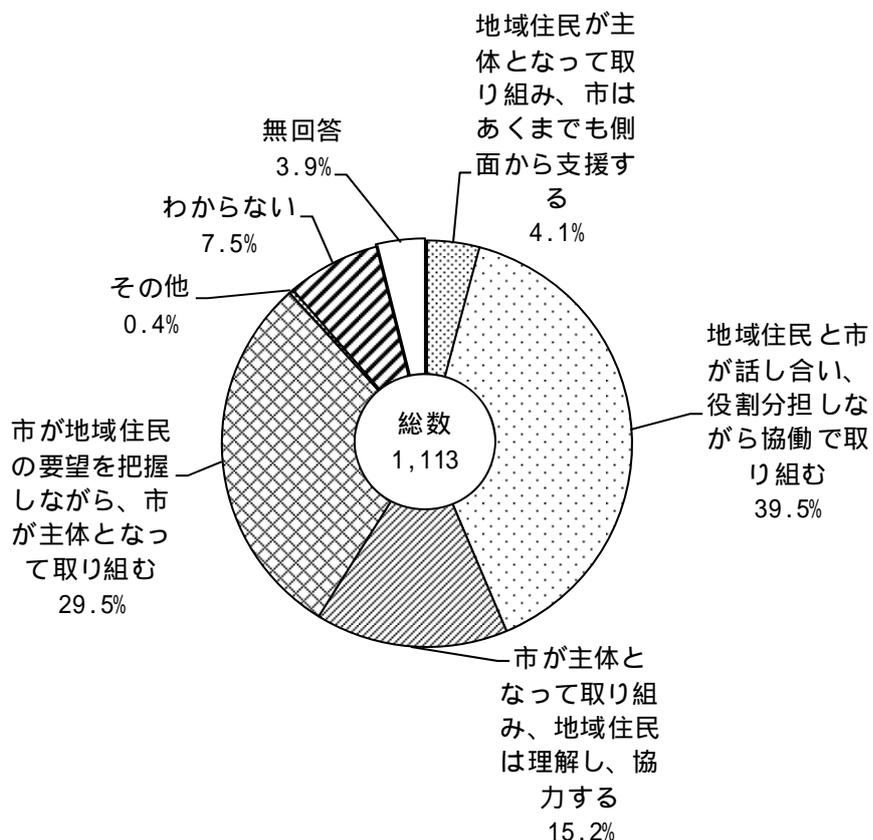
【問20】あなたは、地域の特徴を生かした、暮らしやすいまちづくりを行うために、地域のみなさんで話しあい、地域のルール()を決めていくことについて、どのようにお考えですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



地域のルールを決めていくことについては「地域住民でルールを決めるのは困難である」(44.7%)が4割強と最も高くなっている。続いて「ルールづくりに参加したいと思わない」(19.0%)、「ルールづくりに積極的に参加したい」(17.8%)の順となっている。

(5) 地域のまちづくりを進めるうえでの地域住民と市の役割分担について

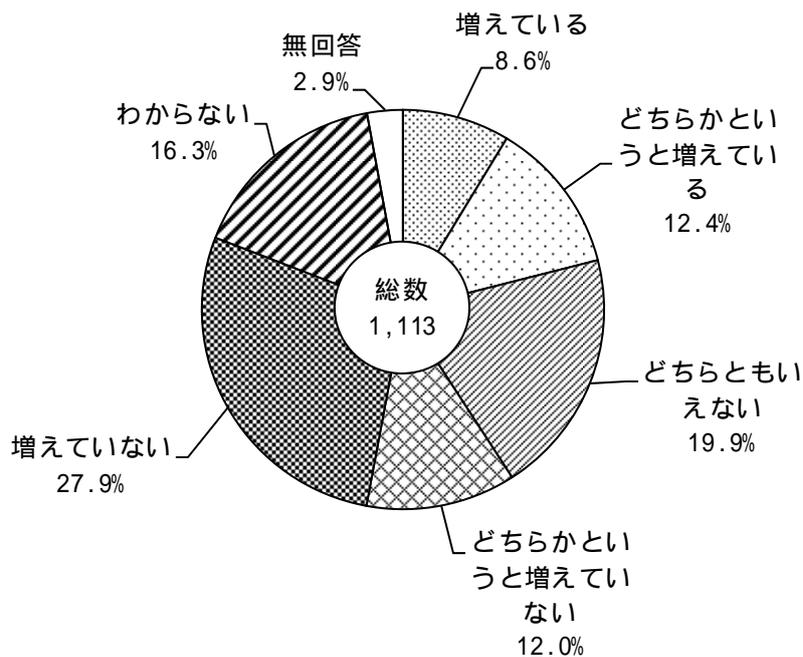
【問 2 1】あなたは、地域のまちづくりを進める上で、地域住民と市が、どのような役割分担をすることが望ましいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



地域のまちづくりを進めるうえでの地域住民と市の役割分担については「地域住民と市が話し合い、役割分担しながら協働で取り組む」(39.5%)が4割弱と最も高くなっている。続いて「市が地域住民の要望を把握しながら、市が主体となって取り組む」(29.5%)、「市が主体となって取り組み、地域住民は理解し、協力する」(15.2%)の順となっている。

(6) 地区の空き家の増加について

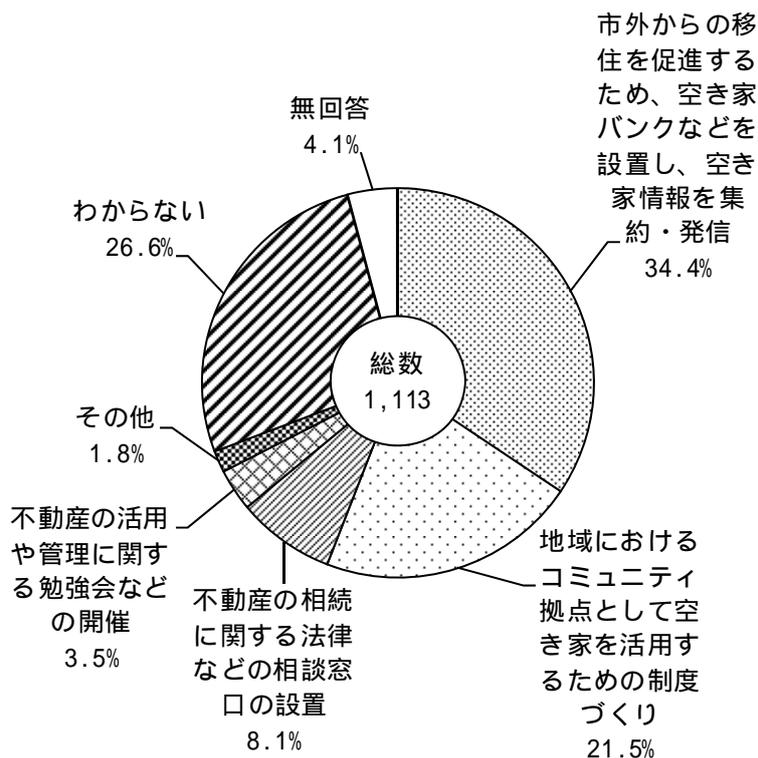
【問 2 2】あなたは、お住まいの地区（問 3 2 で示す地区）に空き家が増えていると思いますか。次の中から 1 つ選んで番号に をつけてください。



地区の空き家の増加については「増えていない」(27.9%) が 3 割弱と高くなっている。続いて「どちらともいえない」(19.9%)、「どちらかというと増えている」(12.4%) の順となっている。

(7) 空き家の対策について

【問23】市内にある空き家への対策として、市はどのような取り組みを充実させていくべきとお考えですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。

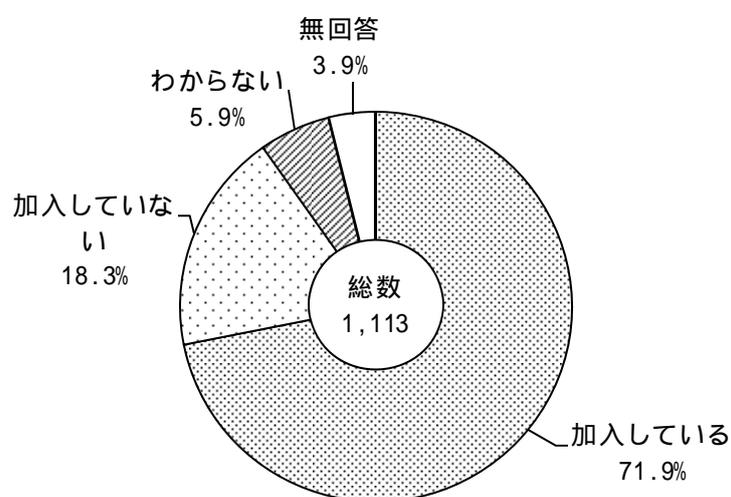


空き家の対策として市が取り組みを充実させることについては「市外からの移住を促進するため、空き家バンクなどを設置し、空き家情報を集約・発信」(34.4%)が3割強と最も高くなっている。続いて「地域におけるコミュニティ拠点として空き家を活用するための制度づくり」(21.5%)が高くなっている。一方で、「わからない」(26.6%)との回答の割合も高くなっている。

11 自治会の加入について

(1) 自治会(区・町会含む)の加入状況について

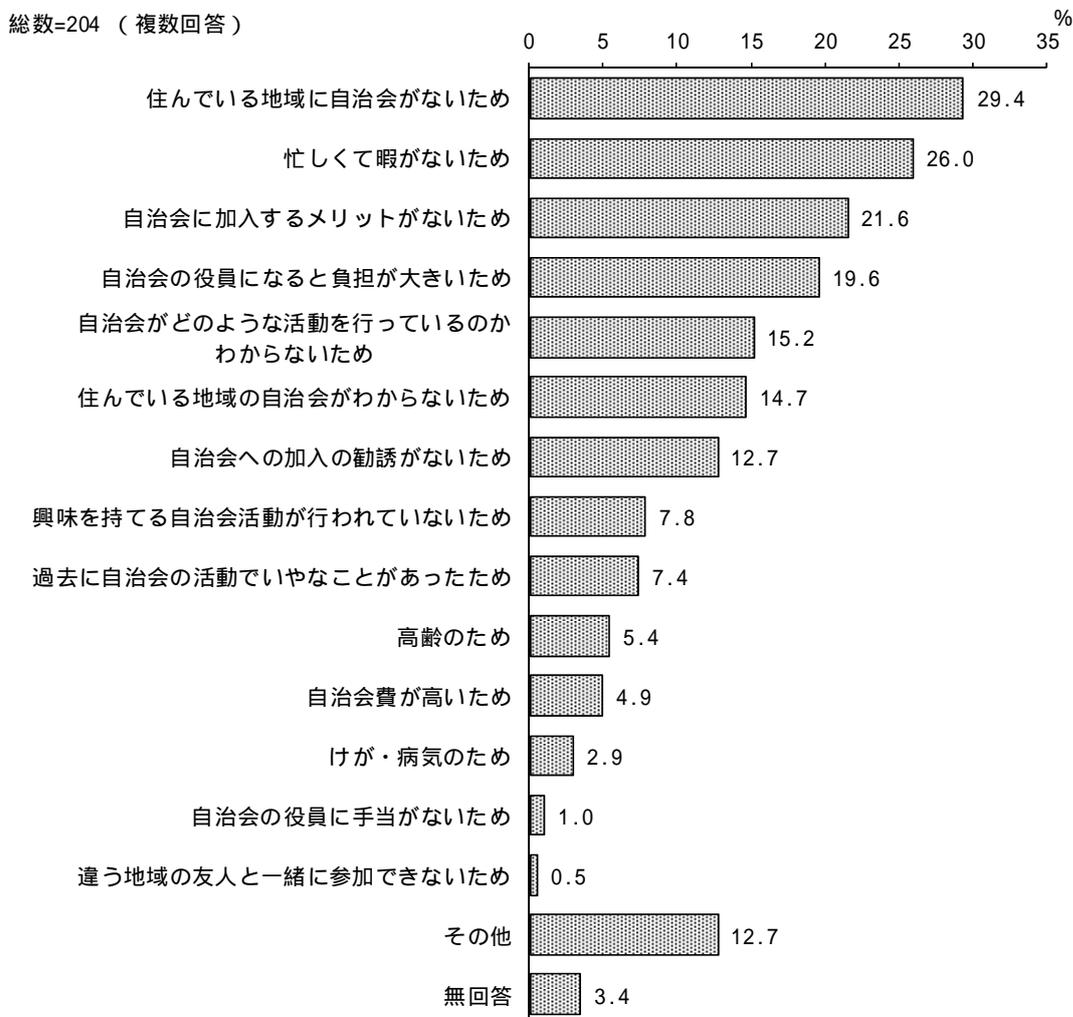
【問24】あなたは自治会(区・町会を含む)に加入していますか。次の中から1つ選んで番号にをつけてください。



自治会の加入状況については「加入している」(71.9%)が7割強と最も高くなっている。一方で、「加入していない」(18.3%)は2割弱となっている。

自治会に加入していない理由

【問24-1】あなたが、自治会に加入していない理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号にをつけてください。

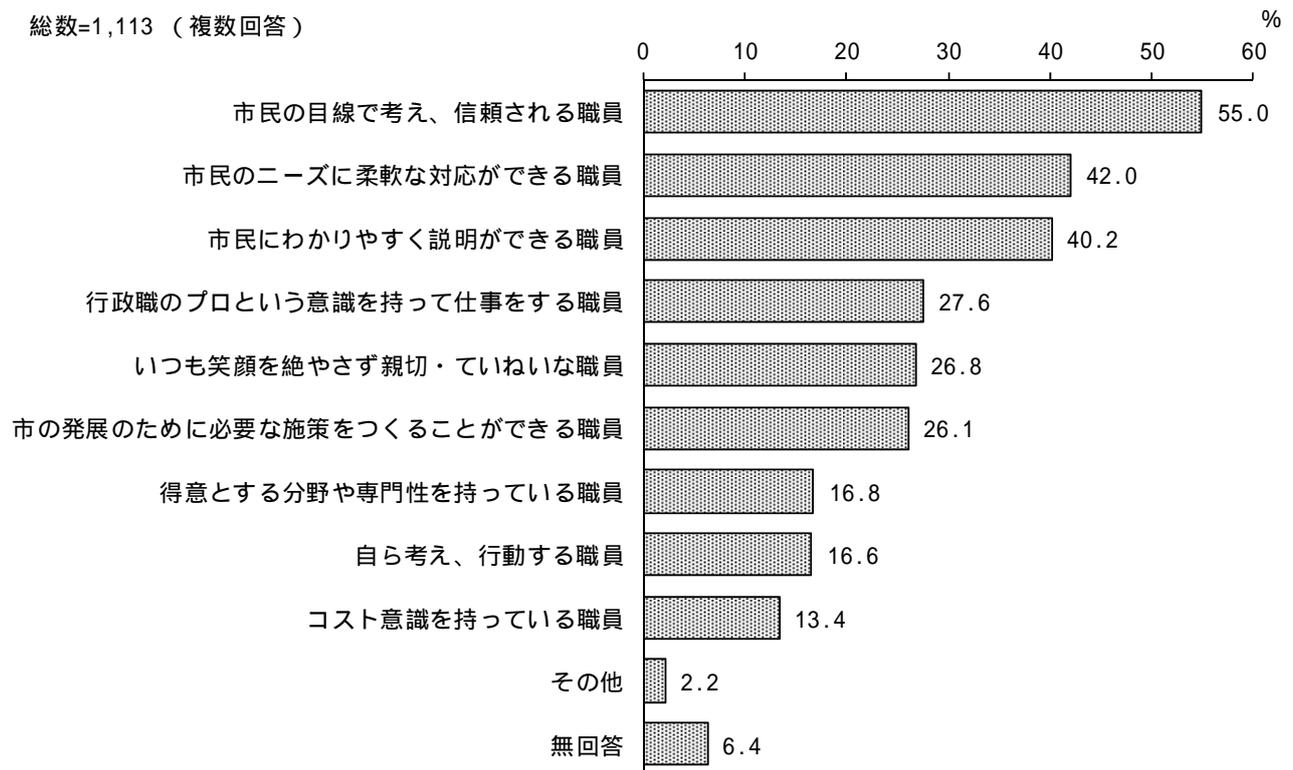


自治会に加入していない理由としては、「住んでいる地域に自治会がないため」(29.4%)が3割弱で最も多くなっている。続いて「忙しくて暇がないから」(26.0%)、「自治会に加入するメリットがないため」(21.6%)の順となっている。

12 市の職員や行財政改革について

(1) 市の職員に求められる職員像として重要なもの

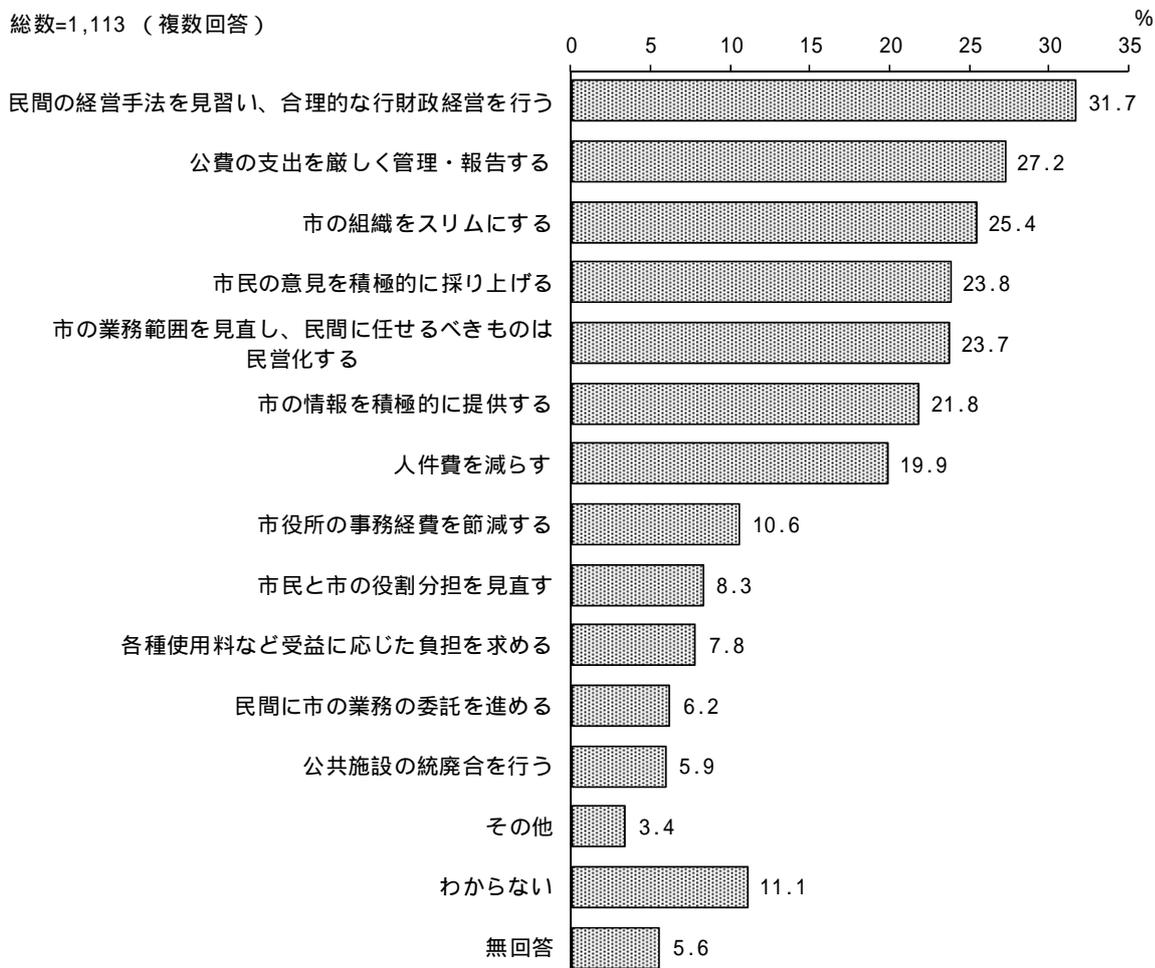
【問25】あなたは、次の職員像のうち、市の職員に特に重要なものは何だと思えますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。



市の職員に求められる職員像として重要なものは「市民の目線で考え、信頼される職員」(55.0%)が5割強と最も多くなっている。続いて「市民のニーズに柔軟に対応できる職員」(42.0%)、「市民にわかりやすく説明できる職員」(40.2%)の順となっている。

(2) 行財政改革の取り組みについて特に力を入れる必要があること

【問 2 6】あなたは、市の行財政改革の取り組みで、特に力を入れる必要があるものは何だと思いますか。次の中から 3 つまで選んで番号に をつけてください。



行財政改革の取り組みについて特に力を入れる必要があることは「民間の経営手法を見習い、合理的な行財政運営を行う」(31.7%)が3割強と最も多くなっている。続いて「公費の支出を厳しく管理・報告する」(27.2%)、「市の組織をスリムにする」(25.4%)の順となっている。